

構造特記仕様書 2020年度版

§1 一般事項
選択項目は◎印を適用し、○印が無い場合は\*印を適用する。
○印が複数有る場合は、共に適用する。

- 1-1 使用材料は原則としてJIS規格品、JAS規格品、又は大臣認定品とする。
1-2 設計図書の優先順位は下記による。
1) 本特記仕様書
2) 設計図
3) 標準図
4) 仕様書
5) 日本建築学会標準仕様書、JASS5、JASS6(最新版とする)
1-3 各工事に際して、施工計画書及び施工図を提出し、工事監理者の承諾を得る。
1-4 構造関係材料及び各種試験成績書・検査報告書を作成し提出する。
1-5 設計図書に示されていない材料、工法等を採用する場合は文書にて工事監理者の承諾を得る。
1-6 梁貫通位置、径、及び箇所数は(●意図 ● 構造図 \*設備図)による。
1-7 その他

§2 構造計算ルート

Table with 2 columns: 方向 (X, Y) and 構造計算ルート (ルート1, 2, 3)

- 2-1 鉄筋の継手
構造計算ルート別による主筋又は、耐力壁の鉄筋の継手の重ね長さ
\* 建築基準法施行令第73条第2項による仕様規定(以下令73条の仕様規定)
◎ 日本建築学会 JASS5(2018)、鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説
● 日本建築学会 RC標準2018
XY両方向共ルート3及び限界耐力計算の場合は、令第73条の仕様規定によらずJASS5(2018)、鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説及びRC標準2018とすることができる。

§3 仮設工事, 土工

- 3-1 山留め、根切り
3-2 埋戻し土、盛土、残土処分
埋戻し土 \* 根切り土の中の良土 ● 搬入良土
盛土 \* 根切り土の中の良土 ● 搬入良土(盛土は30cm毎に転圧締めを行うこと)
残土処分 ◎ 場内均し \* 場外搬出処分(\* 自由 ● 指定場所)

§4 地業工事

Table with 2 columns: 場所 (基礎, 基礎梁, 土間スラブ, 土間コンクリート) and 仕様 (寸法, 材料)

- 4-1 基礎及びスラブ下地業 (単位mm)
4-2 設計地耐力
4-3 地盤改良
4-4 既製コンクリート杭、鋼管杭、その他特殊杭

- 1) 杭種
● PHC杭 ● A種 ● B種 ● C種
● ST杭 ● A種 ● B種 ● C種
● SC杭 t mm ● ● ●
● PRC杭 ● I種 ● II種 ● III種 ● IV種
● 節杭 ● A種 ● B種 ● C種
2) 工法
● 打撃工法 ● 油圧ハンマー ● ディーゼルハンマー
● 埋込み工法 ● プレポーリングセメントミルク注入工法
● プレポーリング拡大根固め工法(認定工法)
● 杭周固定液 \* あり ● なし
● 中掘り拡大根固め工法(認定工法)
● 回転埋設根固め工法(認定工法)

Table for 3) 杭種, 設計耐力, 本数表. Columns: 杭径(括底部)mm, 長期kN, 短期kN, 終局kN, 本数, 備考

- 4) 杭の構成は設計図による。
5) 杭頭補強
● かがり筋 ● スタッド溶接 ● 杭外周溶接
4-5 場所打鉄筋コンクリート杭, 場所打鋼管コンクリート杭
1) 工法
● アースドリル工法 ● 掘削アースドリル工法
● リバース工法 ● オールケーシング工法 (● ベント工法 ● )
● BH工法 ●

Table for 2) 杭種, 設計耐力, 本数表 (括底部は施工工程を示す). Columns: 杭径(括底部)mm, 管厚mm, 長期kN, 短期kN, 終局kN, 本数, 備考

- 3) 杭先端深さ ● GL- m ● 杭リストによる ● 杭伏図による
4) 孔壁測定 (2方向)
\* 行う ( ● 差数 ● % ) ● 行わない
5) 使用材料
コンクリートの仕様は設計図による。特記のない場合JASS5水中コンクリートによる。
コンクリート Fc ( ● 普通ポルトランドセメント ● 高炉セメントB種 )
鉄筋 ● D 以下 SD295A ● D 以上 SD345
● D 以上 SD390
鋼管(リブ付) ● SKK400 ● SKK490
4-6 杭打地業共通事項
1) [ ● 試験杭 ● 試験掘 ] ● 行う ( ● 本 ) ● 行わない
2) 載荷試験 ● 行う ( ● 箇所, 長期設計耐力の3倍を確認する ) ● 行わない
3) SL塗布 ● 行う \* 行わない

§5 鉄筋工事

Table for 5-1 材種. Columns: 種類, 径, 継手

- 5-2 ガス圧接部の検査(第三者機関による)外観検査全数(引張り試験の場合、施工者自主検査でもよい)
● 抜取り検査
◎ 引張り試験 (JISZ3120)
1 検査ロットにつき \* 3本 ● 原則 柱・梁の径毎に3本
◎ 超音波探傷試験 (JISZ3062) ● 熱間押抜き試験
1 検査ロットにつき ● 30箇所
○ 不合格となった圧接部は切り取って再圧接を行う。また残り全数に対して超音波探傷試験を行う。
1検査ロットは1組の作業班が1日に施工した圧接箇所の数量で200箇所以内
5-3 溶接、機械式継手の検査は各々の認定方法による他、日本鋼協会仕様書(2017年)及び下記を参照する。
JIS Z 3063 (鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波探傷試験方法及び判定基準)
JIS Z 3064 (鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定試験方法及び判定基準)
5-4 梁貫通補強
補強筋は原則として工場製品(評定品)を使用する。
5-5 その他
基礎梁、基礎小梁の継手及び定着は原則として ◎ ①一般 ● ②地反力を受ける
● ③上載荷重が大きい場合 とする。
梁の余長Lの採用 大梁・小梁 ◎ D' (梁有効長) ● 端部上下筋15d 中央上下筋20d
基礎梁 ◎ min(D', L) ● 端部上下筋15d 中央上下筋20d
鉄筋の組立は適切な位置にスペーサーを使用し、組立後は形状保持のための養生を行う。
コンクリートを2回打する部材は、初回の打設後に鉄筋の清掃を行う。
コンクリート打設前に工事監理者の検査を受け不備な箇所は修正を行う。

§6 コンクリート工事

- 6-1 レディーミクストコンクリート(JIS A5308-2019)
1) セメント ◎ 普通ポルトランドセメントJISR5210 ● 高炉セメントB種
● 低熱ポルトランドセメントJISR5210 ●
2) 粗骨材 ● 砂利 ● 砕石 ● 高炉スラグ骨材 ● 人工軽量骨材 ● 再生骨材
最大径(mm) \* 20 ● 25 ● 40
3) 設計基準強度 (N/mm<sup>2</sup>) (使用区分は設計図の軸組図に示す)
● 普通コンクリート
● Fc18 ● Fc21 ◎ Fc24 ● Fc27 ● Fc30 ● Fc ● Fc
● 軽量コンクリート(\* 1種 ● 2種 気乾単位容積質量 \* 18.5 ● )
● LFc18 ● LFc21 ● LFc24 ● LFc27 ● LFc30 ● LFc

- 4) 土間コンクリート ◎ Fc 18 (ただし柱、壁等と同時に打込む場合は躯体の強度とする)
5) 捨てコンクリート ◎ Fc 18
6) 防水押さえコンクリート ● Fc ● LFc (気乾単位容積質量 \* 18.5 ● )
7) かさ上げコンクリート ● Fc ● LFc (気乾単位容積質量 \* 18.5 ● )
6-2 混和材 \* AE減水剤 ● 高性能AE 減水剤 ● 躯体防水材 ● 膨脹材
注1. 混和剤は所定の品質を確保するためにプラントの特性に応じたものを使用する。
6-3 箇所 基礎, 基礎梁, 一般, 備考
スラブ cm 15 18
水セメント比 % 50 50 60以下
単位水量 kg/m<sup>3</sup> 180 180 185以下
単位セメント量 kg/m<sup>3</sup> 270 270 270以上
空気量 4~6% 4~6%

- 6-4 試験 (躯体コンクリートの28日圧縮試験は公的機関において行う)
1) 骨材 [ ◎ 塩分含有量 ◎ アルカリシリカ反応性 ] ◎ 行う ● 行わない
2) フレッシュコンクリート [ ◎ スランプ ◎ 空気量 ] ◎ 行う ● 行わない
3) 躯体のせき板取り外し時期決定圧縮試験 ◎ 行う ● 行わない
4) コンクリートコア抜き取り圧縮試験 ● 行う ◎ 行わない
5) マスコンクリートのひび割れ照査(温度応力解析) ● 行う ◎ 行わない
6) 単位水量測定 ◎ 行う ● 行わない
6-5 調査(補正値は工事費に含む)
計画供用期間の級( )は耐久設計基準強度F<sub>d</sub>
● 短期(18) ◎ 標準(24) ● 長期(30) ● 超長期(36)
調査管理強度 F<sub>m</sub>=Max(F<sub>c</sub>, F<sub>d</sub>)+S S=3~6
材齢28日の調査強度Fは下記の両式を満足するものとする。
F<sub>d</sub>≧F<sub>m</sub>+1.73σ F<sub>d</sub>≧0.85F<sub>m</sub>+3σ
6-6 せき板及び支柱の在置期間(普通ポルトランドセメントの場合)

Table for 6-7 住宅性能表示. Columns: 基礎, 梁, 柱, 壁, スラブ下, 梁下. Rows: コンクリートの材齢による場合, 圧縮試験による場合

§7 鉄骨工事

Table for 7-1 材種及び使用箇所. Columns: 規格名称, 鋼材名, 柱, 通し, 内, 大梁, プレス, 小梁, 其他

Table for 7-2 高力ボルト. Columns: 高力ボルトの種類, 使用箇所

- 7-3 普通ボルト、アンカーボルト
1) 材質 ● SS400 ● SS490 (M 以上)
● ABR400 ● ABR490 ● ABM400 ● ABM490 (ABMはM24以上)
2) 大臣認定柱脚(メーカー仕様による) ● 使用する ● 使用しない
7-4 頭付きスタッド

Table for 7-4 頭付きスタッド. Columns: 径, 長さ(mm), 使用箇所

- 7-5 溶接材料
1) アーク溶接に使用する溶接棒、ワイヤ及びフラックスは母材の種類、寸法、及び溶接条件に相応したものを決定する。
2) ガスシールドアーク溶接に使用するシールドガスは溶接に相応したものとする。
7-6 スカラップ形状 \* スカラップ工法 ● ノンスカラップ工法
7-7 継手

Table for 7-7 継手. Columns: フランジ, ウェブ, 柱, 梁

- 7-8 溶接手法及び管理
1) 使用する溶接ワイヤ、入熱量及びバス間温度等の仕様については鉄建協又は全構協の仕様で、専任の溶接施工管理技術者により管理を行うこと。
2) 本工事で代替タブを使用する場合は、代替タブ溶接技能者技量検定付加試験を \* 行う \* 行わない
3) AW検定(工場・現場・代替タブ)の有資格者で、工事監理者の承諾を受けた者は技量検定付加試験を免除する。
7-9 デッキプレート(単位 mm)
1) 床用 高さ ● 板厚 ●
2) 完成スラブ用 高さ ● 板厚 ●
3) 型枠用 高さ ● 板厚 ● 形板 タイプ
4) 防錆処理 ● プライマー ● 亜鉛メッキ ● Z12 ● Z27

Table for 7-10 塗装(工場・現場・2回). Columns: 適用, 塗料, 種別, 標準膜厚

- 3) 溶融亜鉛メッキ ● 行う ● 行わない
4) 常温亜鉛メッキ ● 行う ● 行わない
5) 高耐食メッキ鋼板(t3.2mm以下) ● 用いる ● 用いない
7-11 溶接部の検査(受入検査) \* 行う ● 行わない
1) 受入検査を行う第三者検査機関は、建築主、設計者、工事監理者又は工事施工者(元請)との直接契約による。
2) 第三者検査機関は(社)日本溶接協会によるC1検査事業者認定種別における超音波探傷検査部門の認定を取得した事業者とし、当該工事の鉄骨製作工場の社内検査を行っていない事業者とする。
3) 受入検査は目視による外観検査と超音波探傷検査とし、社内検査完了後に行う。
4) 外観検査の合格判定は国土交通省告示1464号による。ただし告示に定めのないものは日本建築学会「JASS6 鉄骨工事 2018 付則6 超音波探傷検査基準」の限界許容差による。
5) 超音波探傷検査は日本建築学会「鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査規程・同解説」2018により、合格判定は7.2.1疲労を考慮しない溶接部のうち、引張応力が作用する溶接部の項を適用する。
6) 溶接箇所数の数え方は「JASS6 鉄骨工事 2018」表1.1溶接箇所数の数え方による。
7) 受入検査の抜き取り方法及び抜き取り率は以下による。
a) 工場溶接の場合
i. 検査ロットは各節、各工区毎に溶接箇所300箇所以内で構成する。
ii. 抜き取り数は各ロット毎に30箇所をランダムにサブプリングする。
iii. 大きさ30箇所のサンプル中の不適合個数が1個以下のときはロットを合格とし、4個以上のときはロットを不合格とする。ただし、サンプル中の不適合数が1個を超え4個未満のときは、同じロットからさらに30箇所のサンプルを抜き検査する。総計60箇所のサンプルについての不適合個数の合計が4個以下のときはロットを合格とし、5個以上のときはロットを不合格とする。
b) 現場溶接の場合
i. 全数検査とする。
ii. 検査により不合格と判定された溶接部はすべて補修を行い、再検査して合格とならなければならない。
iii. ずれ・食い違いの補修方法は、独立行政法人 建築研究所監修「突き合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による。

Table for 7-12 鉄骨製作工場. Columns: S, H, M, R, J

§8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板・PCa板工事

- 8-1 コンクリートブロック
1) 種類 ● A種 ● B種 ● C種
2) 厚さmm ● 100 ● 120 ● 150 ● 190
8-2 ALC パネル
1) 使用箇所 ● 床 ● 屋根 ● 外壁 ● 内壁
2) 厚さmm ● 75(80) ● 100 ● 120(125) ● 150 ● 175
3) 外壁取付付け構法

Table for 8-3 押出成形セメント板. Columns: 方向, 構法, 使用箇所, 備考

Table for 8-4 PCa板. Columns: 方向, 構法, 使用箇所, 備考

Table for 8-4 PCa板. Columns: 1)床及び屋根, 2)外壁 厚さmm

Table for 8-4 PCa板. Columns: PCa板厚さmm, 現場打厚さmm, 合計厚さmm, 備考

- §9 その他
● 打込・締め固め方法 (JISA8610コンクリート特型振動機を使用し、密実に充填する。)
● 打継ぎ部の処理方法 (打継ぎ面を鉄筋と垂直にする。)
(構造部材の耐力低下が少なく、かつ打継ぎ部の処理が円滑に行える形状とする。(打継ぎ部の鉄筋は連続している。(EXP. Jを除く) )
● 養生方法 (JASS5による。)

オオバ・hana class 共同企業体
新都市公園実施設計及び建築設計業務委託 2021.01.29

新都市公園整備工事(その3)設計図

構造特記仕様書
1級建築士 大臣登録 第284403号 佐原 光治
1級建築士事務所 和歌山県知事登録 第( )130号-2

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1) 2020年度版

1-1 基本事項

§1 一般事項

1. 使用材料、工法等は構造特記仕様書による。
2. 設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。また本標準図に明記なき場合は構造特記仕様書1-2-4に指定した共通仕様書及び日本建築学会「JASS5(2018)」及び「鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説」による。
3. 本標準図は異形鉄筋を対象とし、dは呼び名に用いた数値とする。
4. 本標準図に示す単位は特記なき限りすべてmmとする。

1-2 その他

2-1 鉄筋の表示記号

§2 共通事項

鉄筋の表示記号及び最外径は下表による。

記号	×	○	◎	⊙	⊚	⊛	⊜	⊝	⊞	⊟	
呼び径 d	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41
最外径 D	11	14	18	21	25	28	33	36	40	43	46

○ フックのない場合  
○ フックのある場合  
○ 本数に差がある場合  
○ 機械式継手表示  
○ ガス圧接、溶接継手表示

2-2 鉄筋の折り曲げ

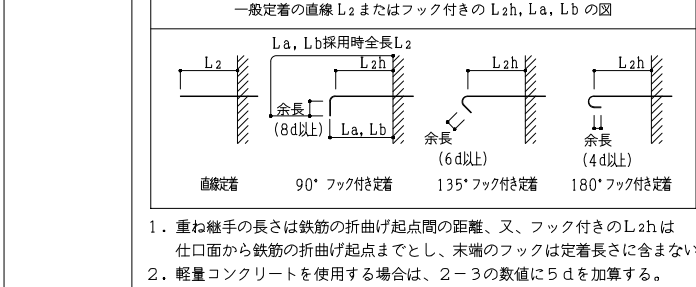
柱・梁・基礎の主筋、及び、その他の鉄筋の折曲げ形状・寸法

折曲げ角度	図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内法直径(D)
180°		柱・梁主筋	SD295	D16以下	3d以上
		基礎主筋	SD345	D19~D41	4d以上
		あばら筋	SD390	D41以下	5d以上
		スラブ筋		D25以下	5d以上
		壁筋	SD490	D29~D41	6d以上

2-3 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

「JASS5(2015)」に準拠

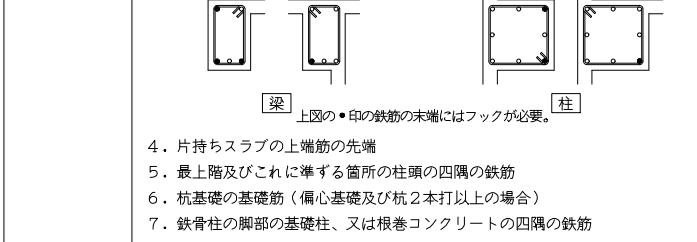
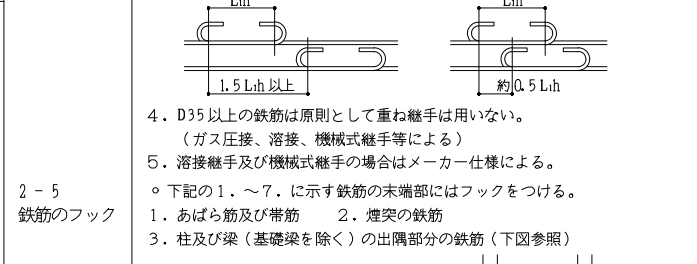
鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度(N/mm <sup>2</sup> )	重ね継手の長さ		定着の長さ					
		上段直線 L <sub>1</sub>	下段フック付き L <sub>1h</sub>	上段直線 L <sub>2</sub>	下段フック付き L <sub>2h</sub> , L <sub>a</sub>	上端筋	下端筋		
SD295	18	45d(50d)	35d	40d	20d	15d	L <sub>s</sub> =20d L <sub>sh</sub> =10d		
	21	40d(45d)	30d	35d	15(20)d	(20d)			
	24~27	35d(40d)	25d(30d)	30d(35d)	20d(25d), 15(20)d				
	30~36	35d	25d	30d	20d	15d			
SD345	39~45	30d(35d)	20d(25d)	25d(30d)	15d(20d), 15d	15d	L <sub>s</sub> =10d かつ		
	48~60	30d	20d	25d	15d	15d以上			
	SD390	21	50d(-)	35d(-)	40d(-)	20d(-)		20d	SD490は適用外
		24~27	45d(55d)	35d(45d)	40d(45d)	20d(25d)			
30~36		40d(50d)	30d(35d)	35d(40d)	25d(30d), 20(25)d	15d			
39~45		40d(45d)	30d(35d)	35d(40d)	25d(30d), 15(20)d				
SD490	48~60	35d(40d)	25d(30d)	30d(35d)	20d(25d), 15(20)d				



2-4 継手一般

3. 構造特記仕様書2-2で政令第73条とした場合、主筋又は耐力壁の鉄筋の継手重ね長さは左下表L<sub>1</sub>かつ40d(軽量コンクリートを使用する場合は50d)とする。
4. 構造特記仕様書2-2でJASS5(2018)、RC規準2018とした場合、主筋又は、耐力壁の鉄筋の継手重ね長さは設計者の指示による。参考値として左下表JASS5(2018)にL<sub>1</sub>、L<sub>2</sub>を示す。

ガス圧接継手・溶接継手・機械式継手に関する事項は、標準仕様書および施工要領ならびに鉄筋継手工事特記仕様書(2019年版)共に公益社団法人日本鉄筋継手境界編に準拠。



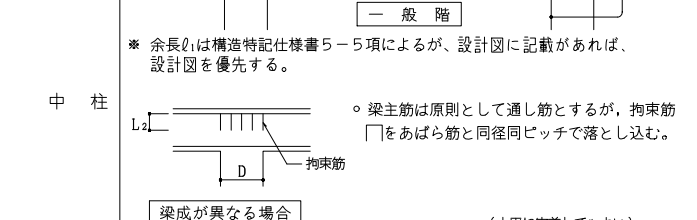
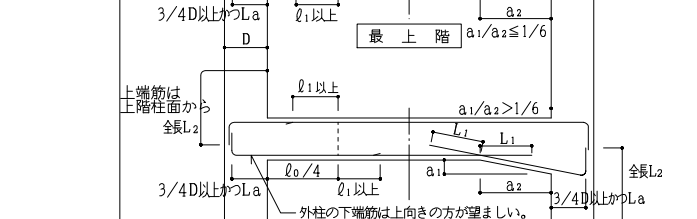
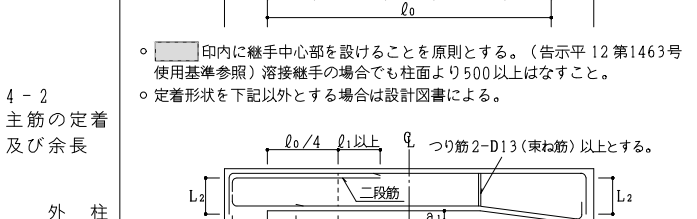
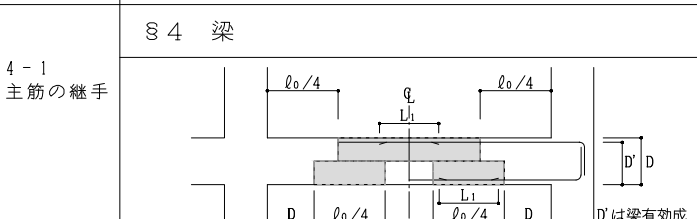
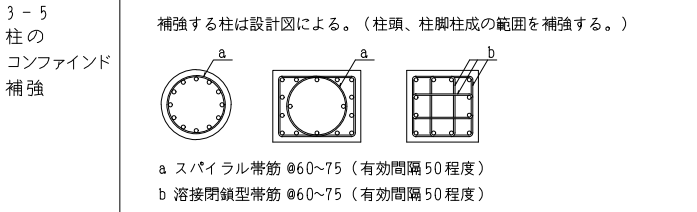
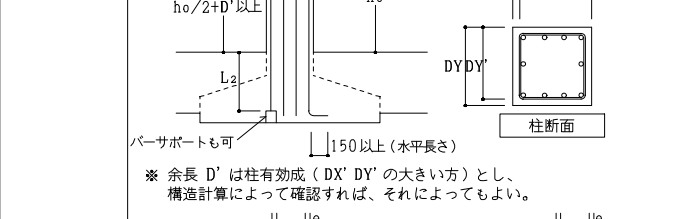
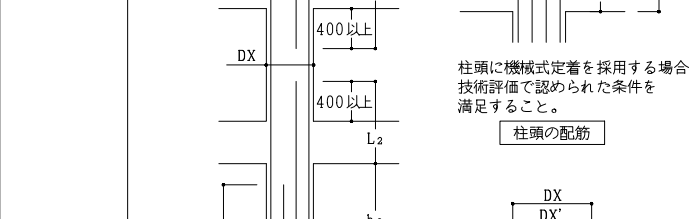
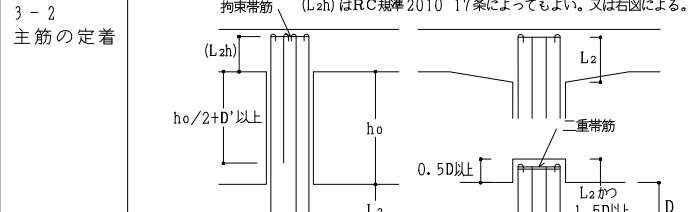
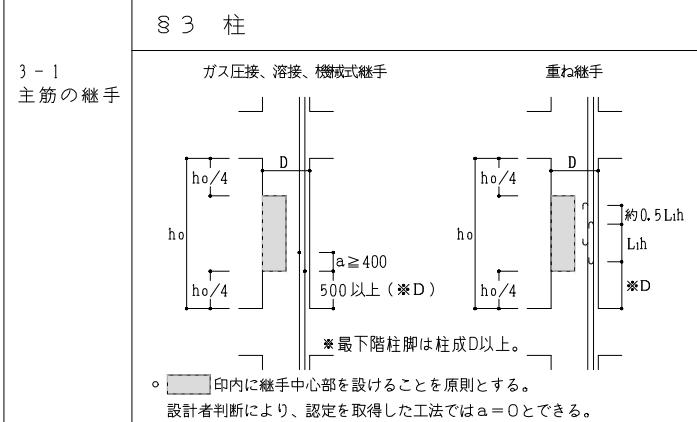
2-6 鉄筋のあき

鉄筋のあき a は原則として下記による。呼び名の数値 d の 1.5 倍以上 かつ 25 以上 ※Dは最大径を示す

鉄筋に対するコンクリートの設計かぶり厚さと最小かぶり厚さ

部位	かぶり厚さ	
	仕上げあり	仕上げなし
土に接しない部分	屋根スラブ	30(20)
	床スラブ	30(20)
	非耐力壁	40(30)
土に接する部分	柱	40(30)
	梁	40(30)
	耐力壁	50(40)
土に接する部分	柱・梁・床スラブ・壁	50(40)
	基礎の立上り	70(60)
	基礎・擁壁	70(60)

1. ( ) 内の数値は最小かぶり厚さを示す。  
2. 仕上げありとは、鉄筋の耐久性上有効な仕上げのある場合とする。  
3. ※1 品質・施工法に応じ、工事監理者の承認で10減の値とすることができる。  
4. ※2 軽量コンクリートの場合は、これに10加算する。  
5. 柱・梁の主筋のかぶり厚さは主筋径の1.5倍以上とする。  
6. 目地部のかぶり厚さは、目地底からのかぶり厚さとする。



オオバ・hana class 共同企業体

新都市公園実施設計及び建築設計業務委託 2021.01.29

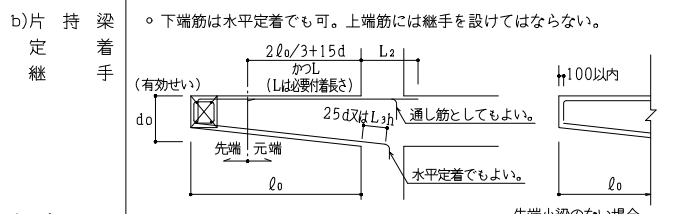
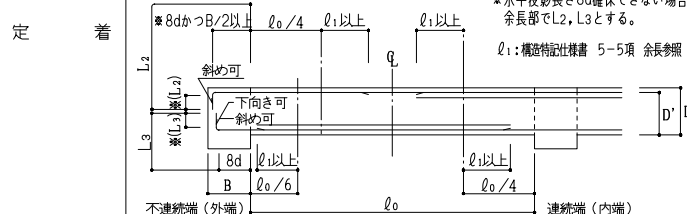
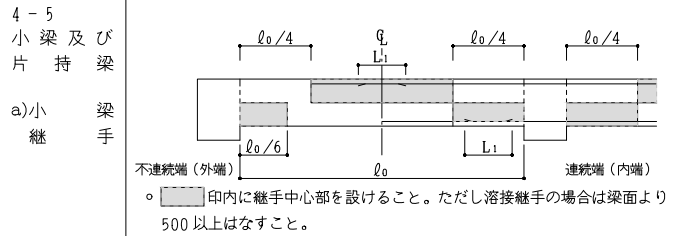
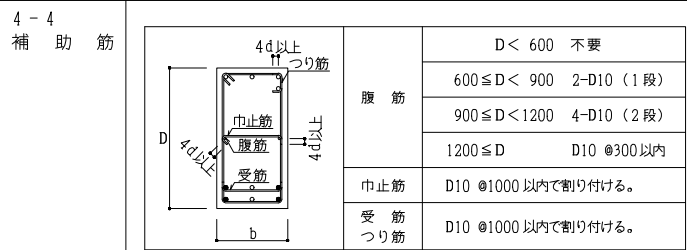
新都市公園整備工事(その3) 設計図

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)

1級建築士 大匠登録 第284403号 佐原 光治  
1級建築士事務所 和歌山県和歌山市 第(リ)130号-2

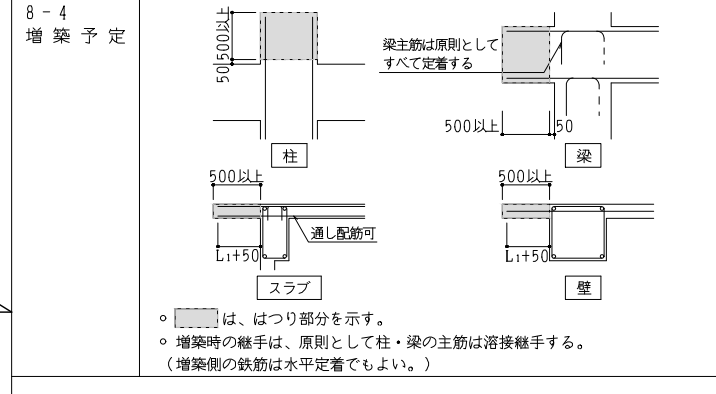
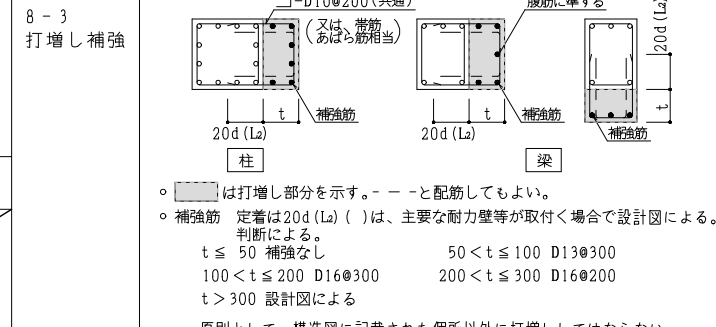
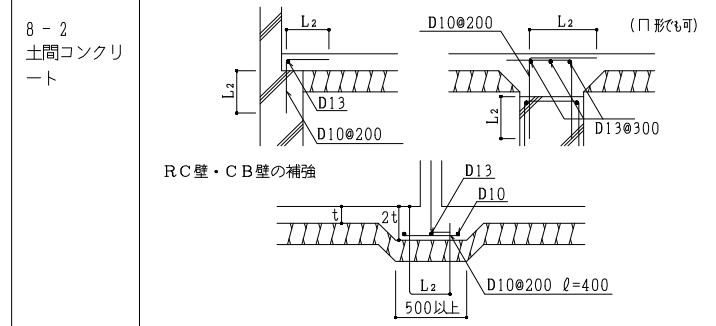
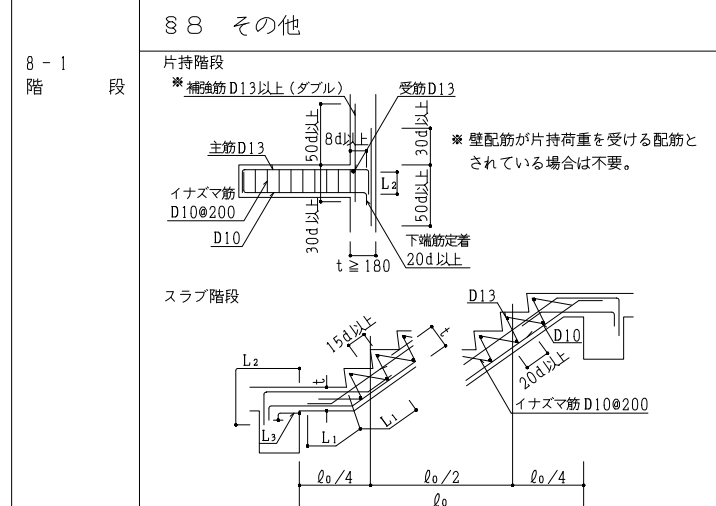
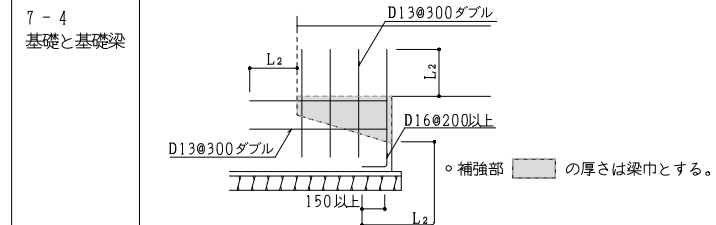
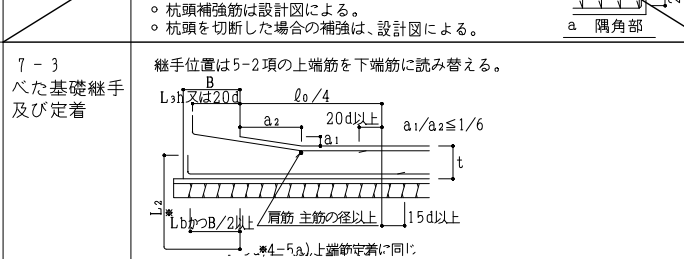
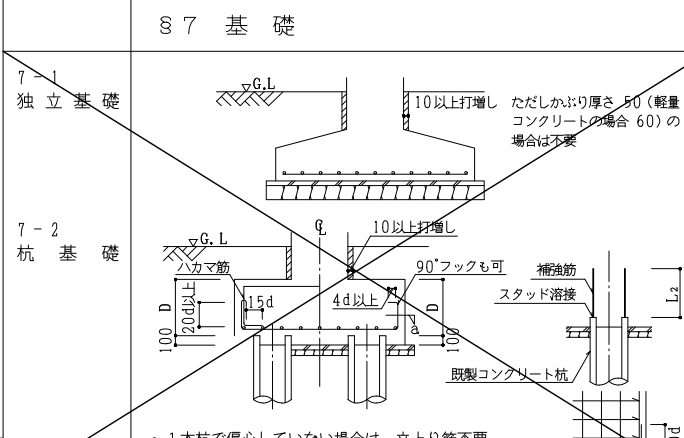
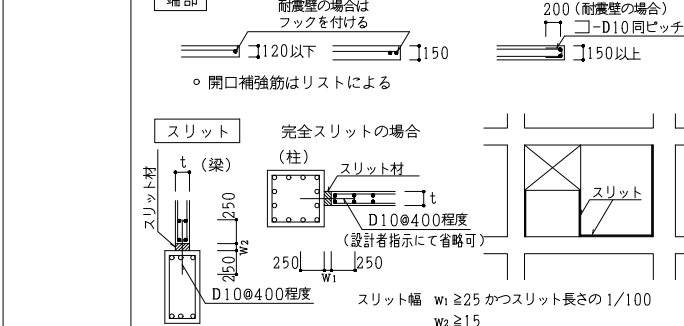
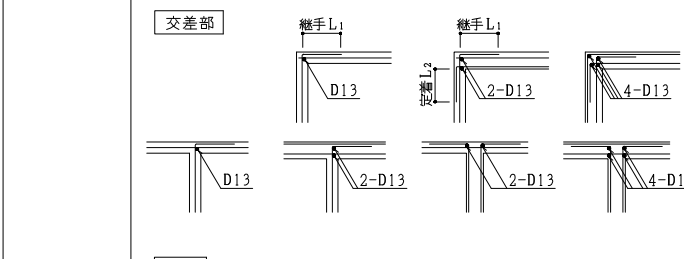
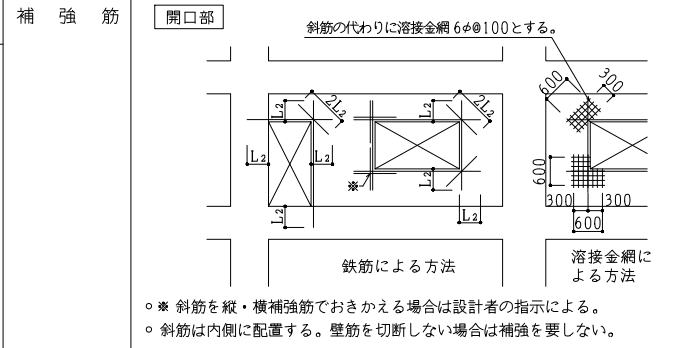
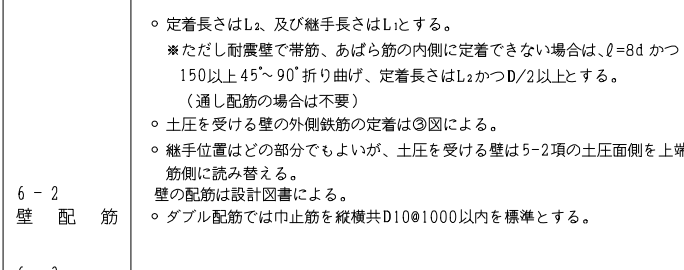
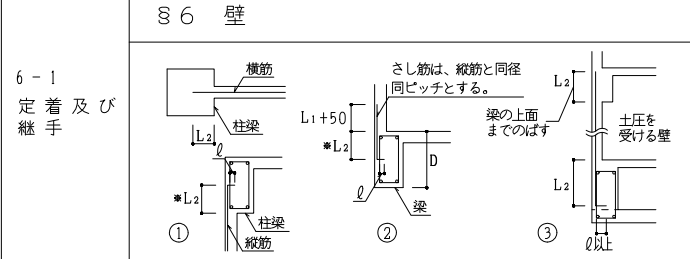
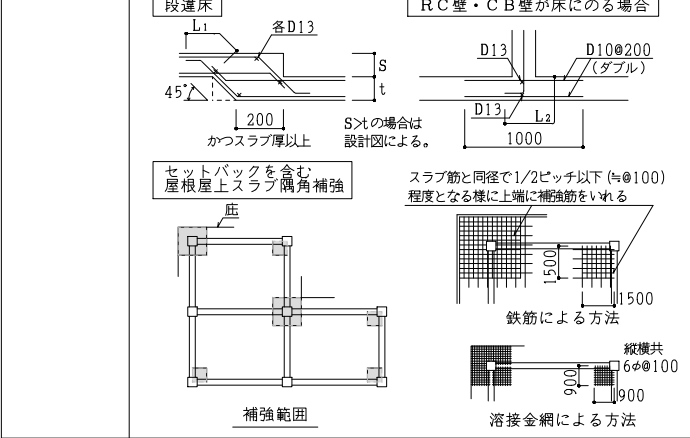
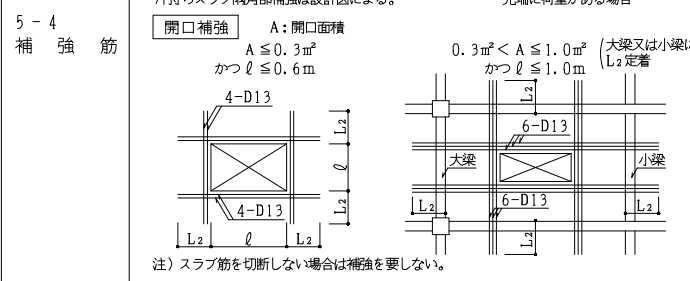
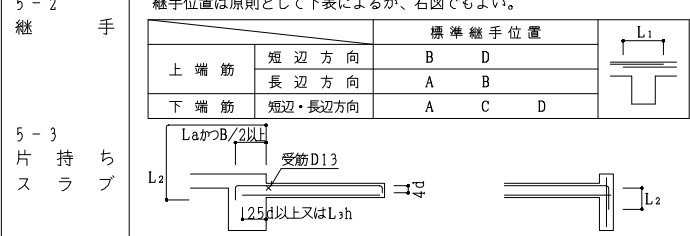
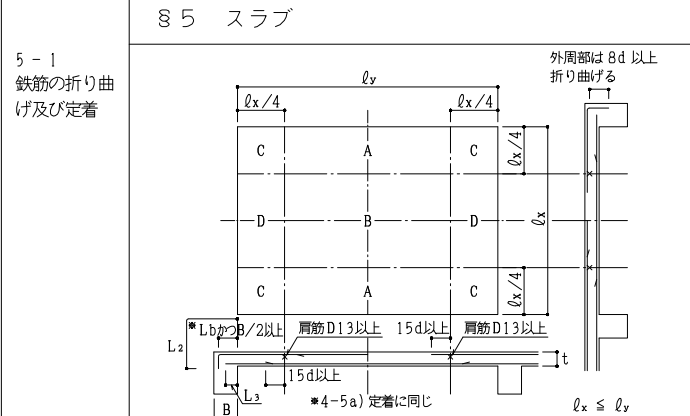
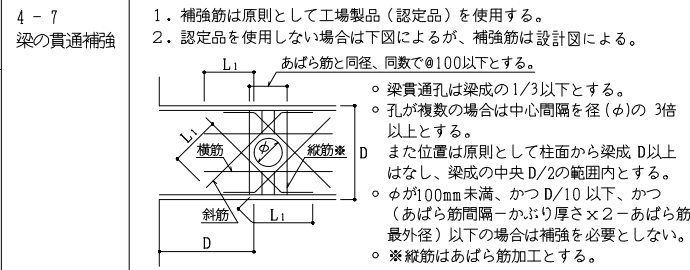
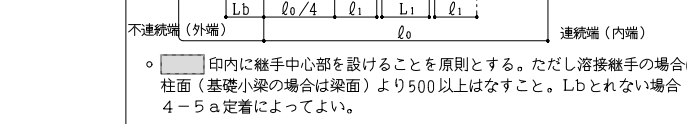
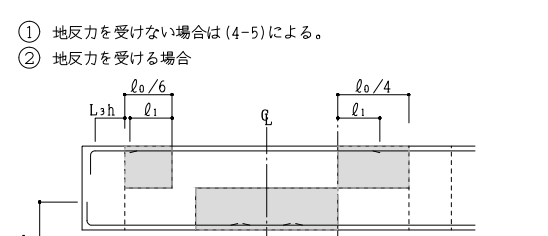
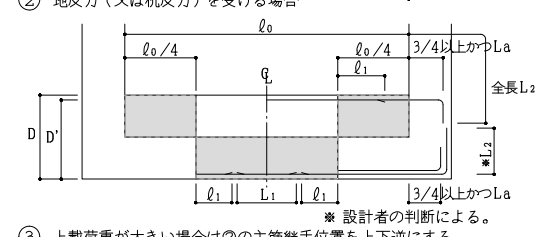
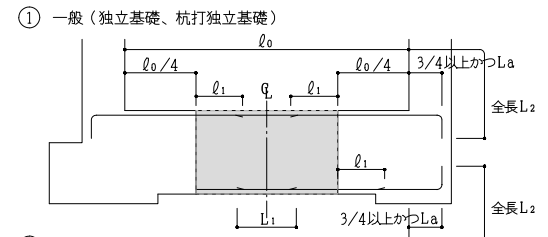
YS-02

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2) 2020年度版



4-6 基礎梁及び基礎小梁

a) 基礎梁の継手及び定着



オオバ・hana class 共同企業体

新都市公園実施設計及び建築設計業務委託 2021.01.29

新都市公園整備工事(その3) 設計図

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)

1級建築士 大匠登録 第284403号 佐原 光治  
1級建築士事務所 和歌山県知事登録 第(リ)130号-2

YS-03

鉄筋コンクリート壁式構造配筋標準図 2020年度版

1-1 基本事項

§1 一般事項

- 1) 本標準図に記載なき事項は、鉄筋コンクリート構造配筋標準図による。
- 2) 耐久性上有効な仕上げのない壁（屋内外共）及び土に接する壁は10以上増打ちする。
- 3) 特記なき限り粗骨材は最大径20mmとする。

1-2 その他

2-1 標準配筋リスト

§2 壁の標準配筋

符号	厚さ	縦筋、横筋	開口補強筋	
			縦筋	斜め筋
W12	120	D10-#200(S)	1-D13	1-D10(1-D10)
W15	150	D10-#200(S)	② 2-D13(1-D13)	1-D13(1-D10)
W A		D10-#200(D)	2-D13(2-D13)	2-D13(1-D13)
W B		D10-#200(D)	2-D16(2-D13)	2-D13(1-D13)
W C		D10-#200(D)	④ 2-D19(2-D16)	2-D16(1-D16)

- 1) 特記なき配筋は上表によるが、壁の厚さは§6によるか、梁形を設ける事が望ましい。
- 2) ( ) 内は開口部の高さhがh≦1000の場合を示す。
- 3) (S) はシングル配筋、(D) はダブル配筋を示す。
- 4) ダブル配筋の中止筋は、D10-#1000以内を標準とする。
- 5) 開口部補強の横筋（壁梁主筋）は設計図によるが、特記のない場合は縦筋に準じ、あばら筋は壁筋と同じとする。
- 6) 壁符号は設計図に記載なき場合は下表による。
- 7) 地下室のある場合は設計図による。
- 8) ② 2-D13の代わりに1-D19とすることができる。
- 9) ④ 2-D19の代わりに2-D16+2-D13とすることができる。
- 9) 斜め筋の配筋が困難な場合は、縦筋横筋に置き換えてもよい。

2-2 標準壁配置

5階	W15 (W A)				
4階	W A	W15 (W A)			
3階	W B	W A	W15 (W A)		
2階	同上	W B	W A	W15 (W A)	W12
1階	W C	同上	W B	同上	(W15) (W A)

3-1 端部の配筋

§3 壁筋の定着

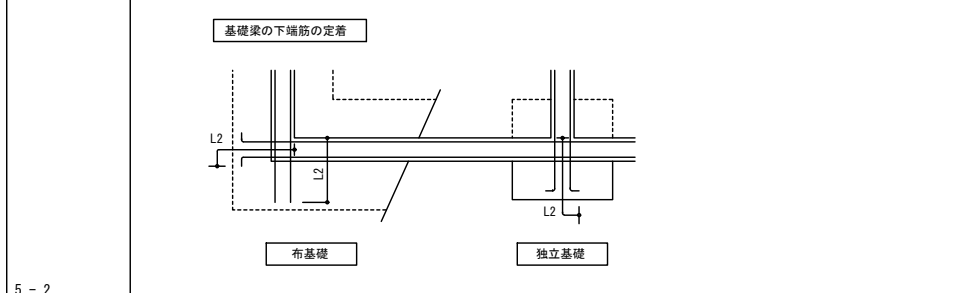
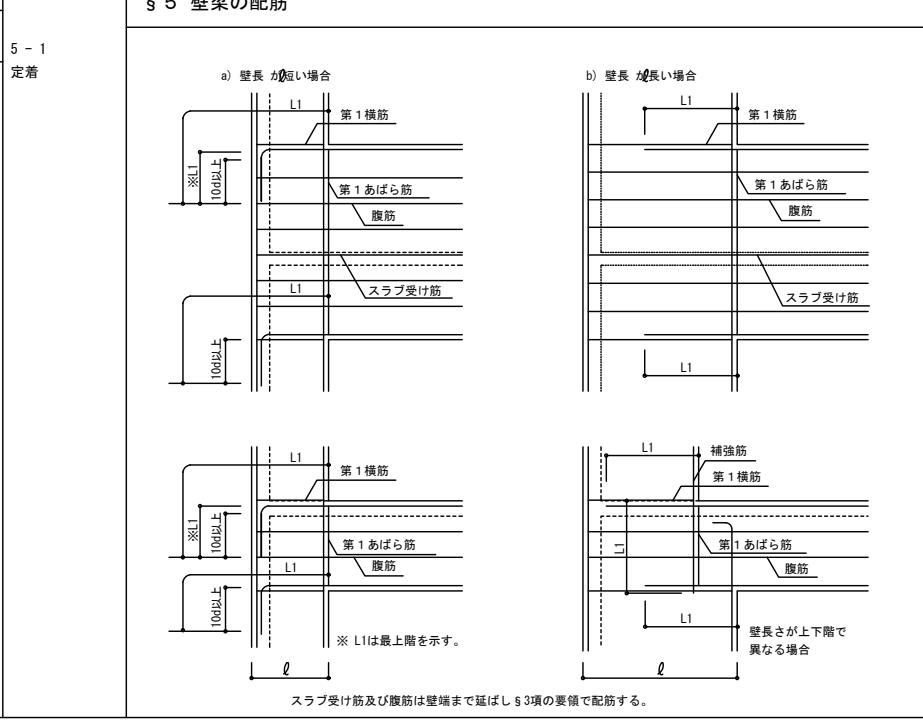
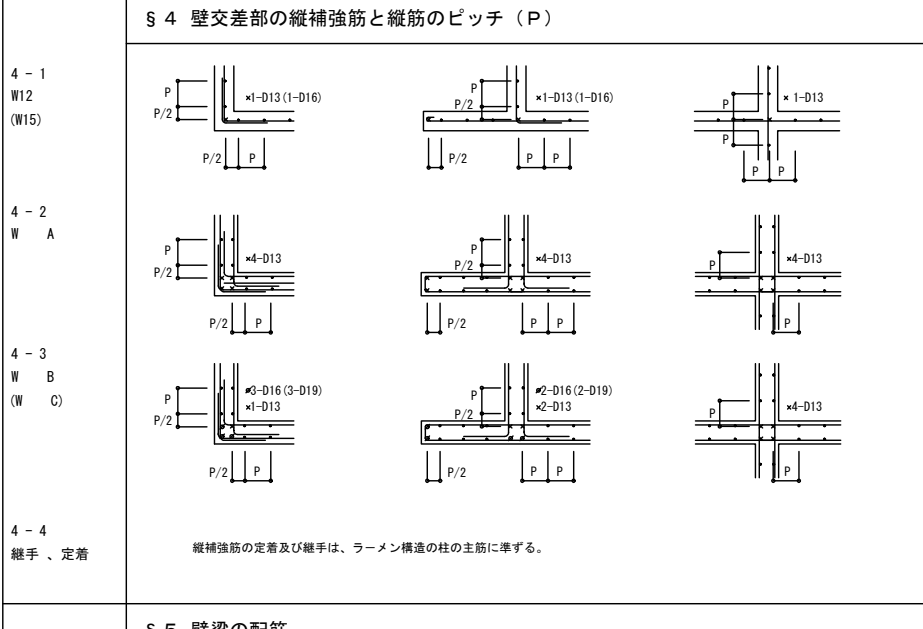
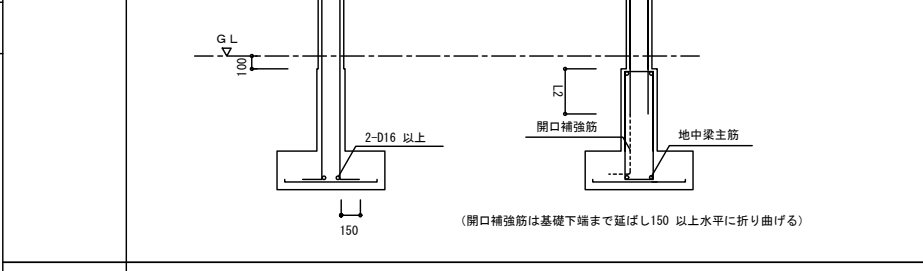
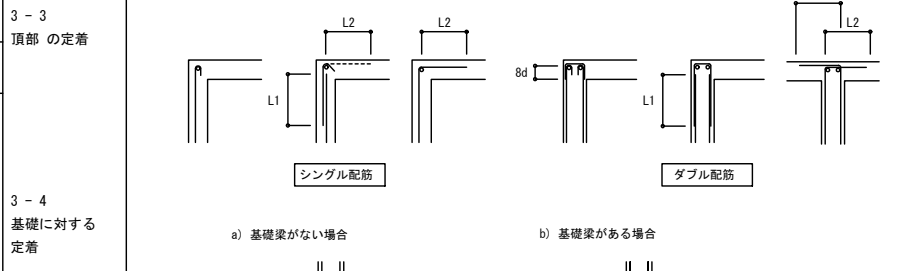
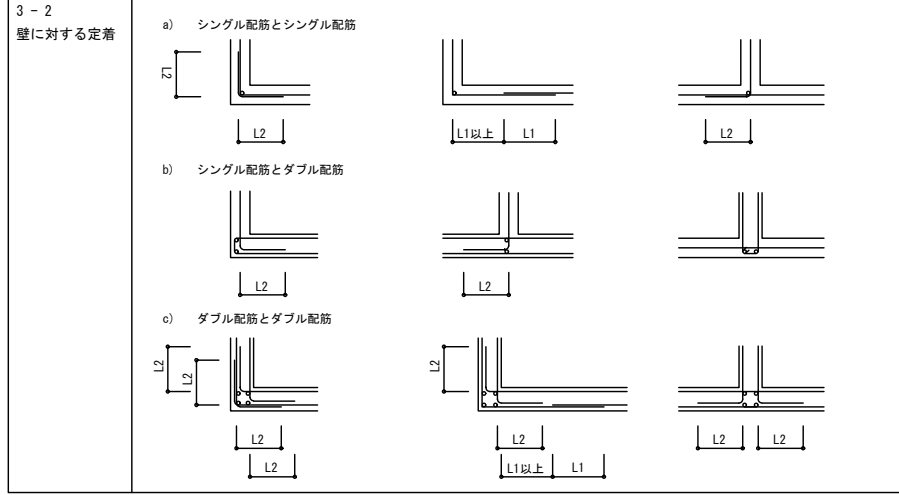
ℓ≦1500の壁は柱の帯筋に準じて配筋する。

3-2 壁に対する定着

a) シングル配筋とシングル配筋

b) シングル配筋とダブル配筋

c) ダブル配筋とダブル配筋

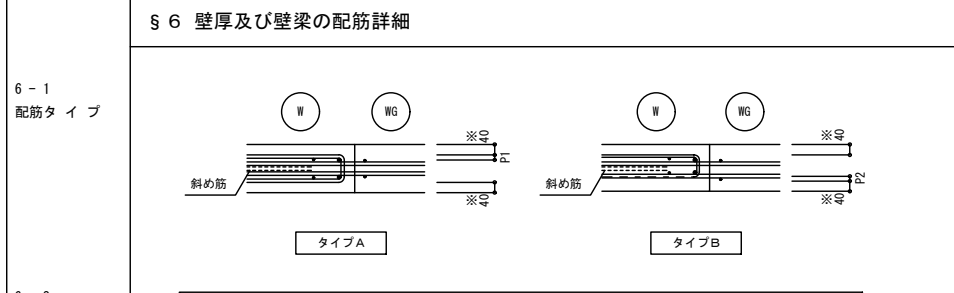


5-2 継手

壁梁内での継手はなるべくだけ設けず、壁内で継手を設けるか、壁への定着とする。

5-3 その他

- 1) 隣接の梁と同レベルの場合は通し配筋とするが、壁長が非常に大きい場合の定着はL1のみとしてもよいが主筋がスラブレベルと同じ場合は5-2スラブ受け筋との継手とする。
- 2) スラブ受け筋は、ダブル配筋の場合は2-D13、シングル配筋の場合は1-D13とし壁筋の要領で定着する。又壁梁のない場合も配筋する。
- 3) 腹筋は壁の横筋と同径、同ピッチとする。



6-2 タイプ別壁厚表

壁曲げ補強筋	斜め筋	配筋タイプ別による壁厚表 (mm)					
		タイプA			タイプB		
		梁主筋			梁主筋		
D13	D10	D13	D16	D19	D13	D16	D19
D16	D13	190	195	205	185	190	195
D19	D16	195	205	215	190	200	205
		200	210	220	200	210	210

- 1) かぶり厚さを40mmとした場合をしめす ※ 最小かぶり厚さを30mmとした場合、壁厚は上表より20mmとする。
- 2) 主筋のあきは1.5dかつ25mm以上とし、斜め筋が配筋できる寸法とする。
- 3) 主筋と帯筋及びあばら筋の寸法関係は下表による。

壁縦補強筋	壁梁補強筋		壁梁主筋	
	D1	P1	D2	P2
	D13	20	D13	26
	D16	22	D16	26
	D19	23	D19	26

FAX (06) 6763-8206 http://www.kse-web.com/ 2020年2月1日作成 (不許複製)

オオバ・hana class 共同企業体

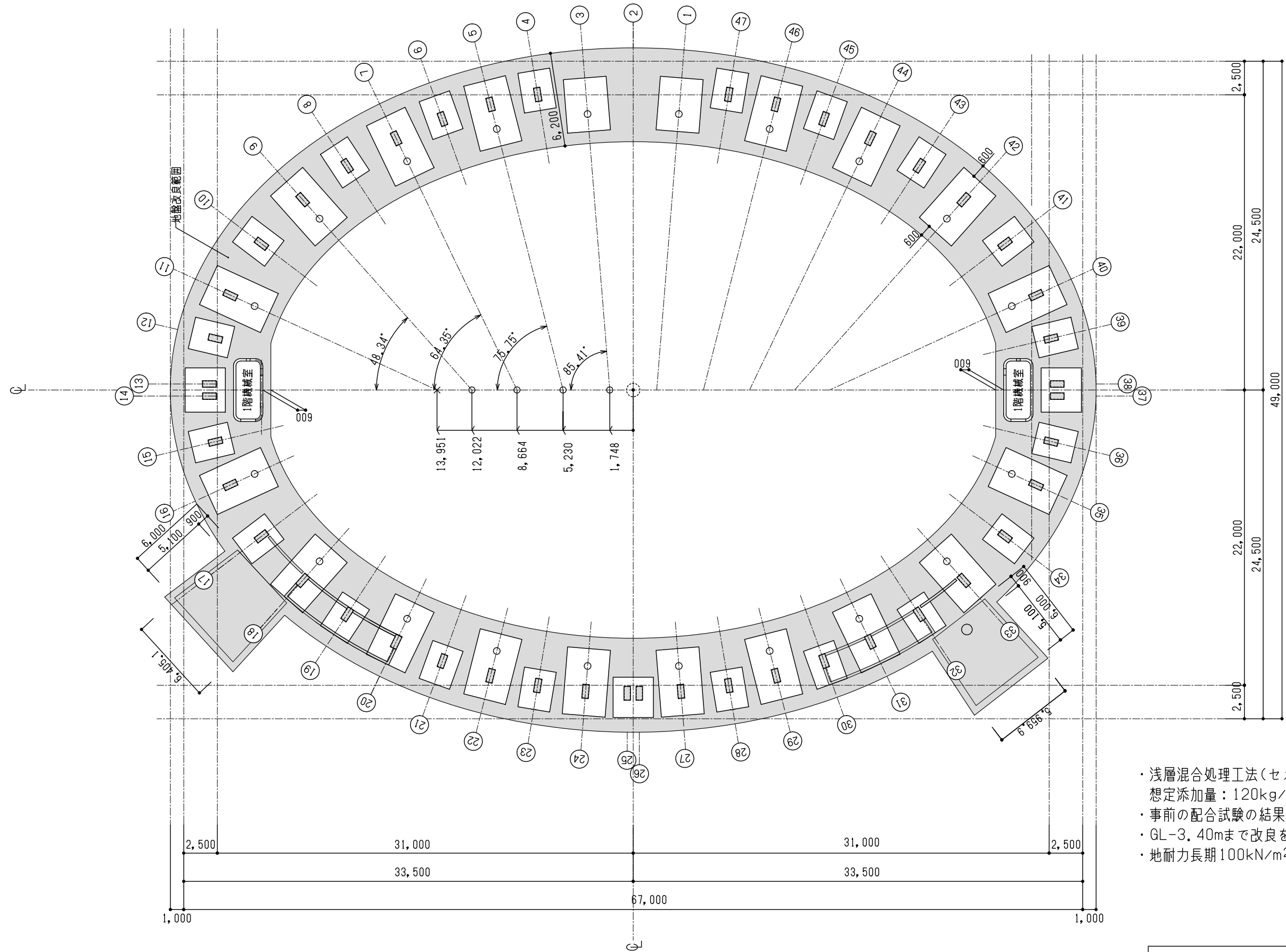
新都市公園実施設計及び建築設計業務委託 2021.01.29

新都市公園整備工事(その3) 設計図

鉄筋コンクリート壁式構造配筋標準図

1級建築士 大匠登録 第284403号 佐原 光治  
1級建築士事務所 和歌山県知事登録 第(リ)130号-2

YS-04



地盤改良伏図  
1/150(A1)  
1/300(A3)

- ・浅層混合処理工法(セメント系固化材攪拌)  
想定添加量: 120kg/m<sup>3</sup>
- ・事前の配合試験の結果により決定すること。
- ・GL-3.40mまで改良を行うこと。
- ・地耐力長期100kN/m<sup>2</sup>

オオバ・hana class 共同企業体

新都市公園実施設計及び建築設計業務委託

2021.01.29

新都市公園整備工事(その3)設計図

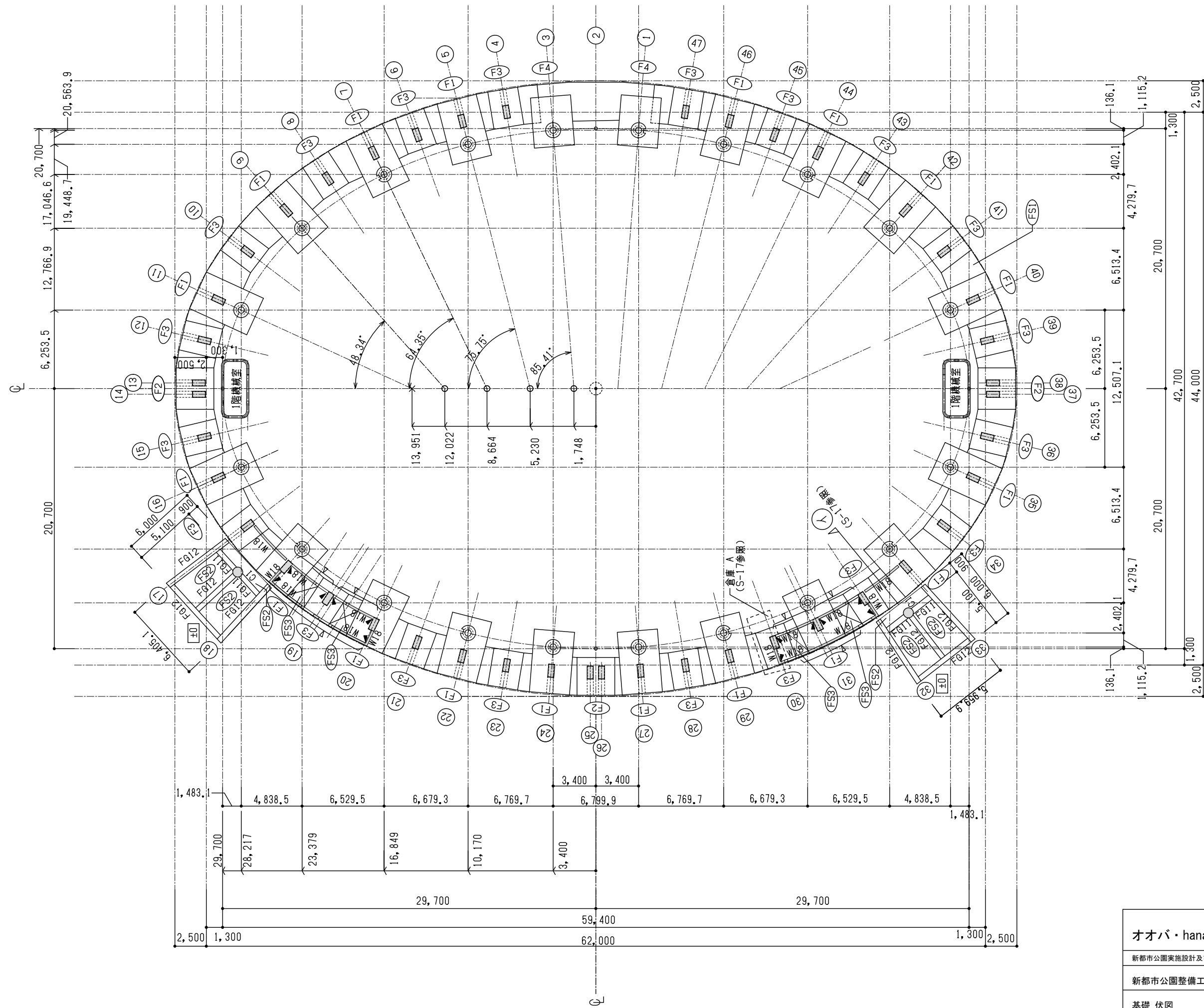
地盤改良 伏図

<A1>S=1:150

<A3>S=1:300

1級建築士 大匠登録 第284403号 佐原 光治  
1級建築士事務所 和歌山県知事登録 第(リ)130号-2

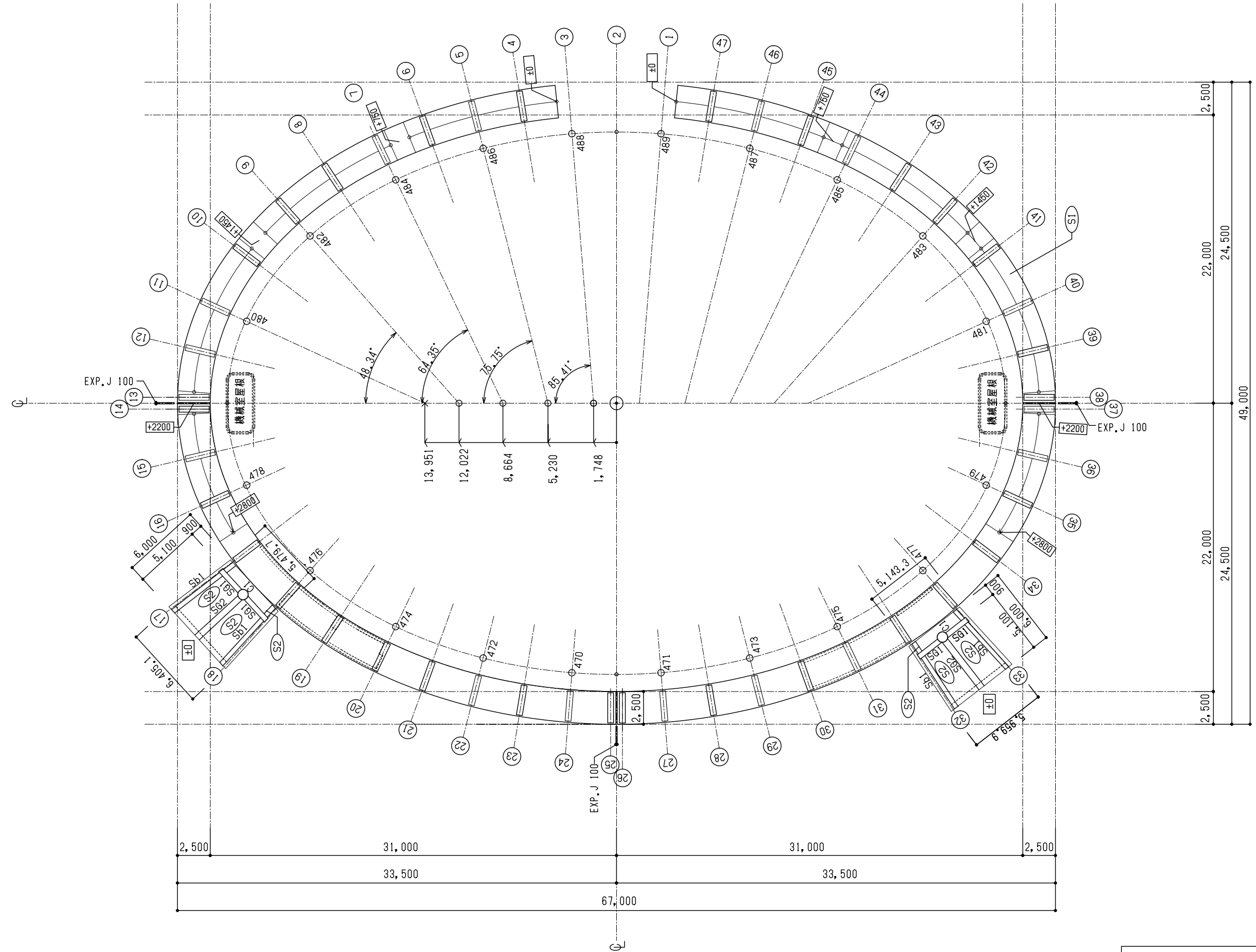
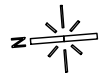
YS-05



基礎伏図 1/150(A1) 1/300(A3)

- ・特記なき限りスラブはFSIとする。
- ・●印は、構造鉛直スリットを示す。
- ・◁印は、構造水平スリットを示す。

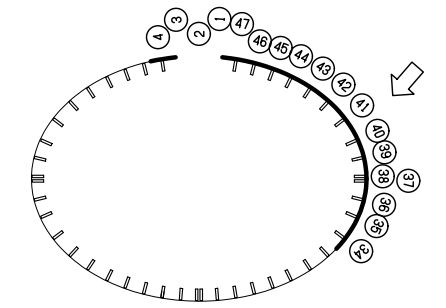
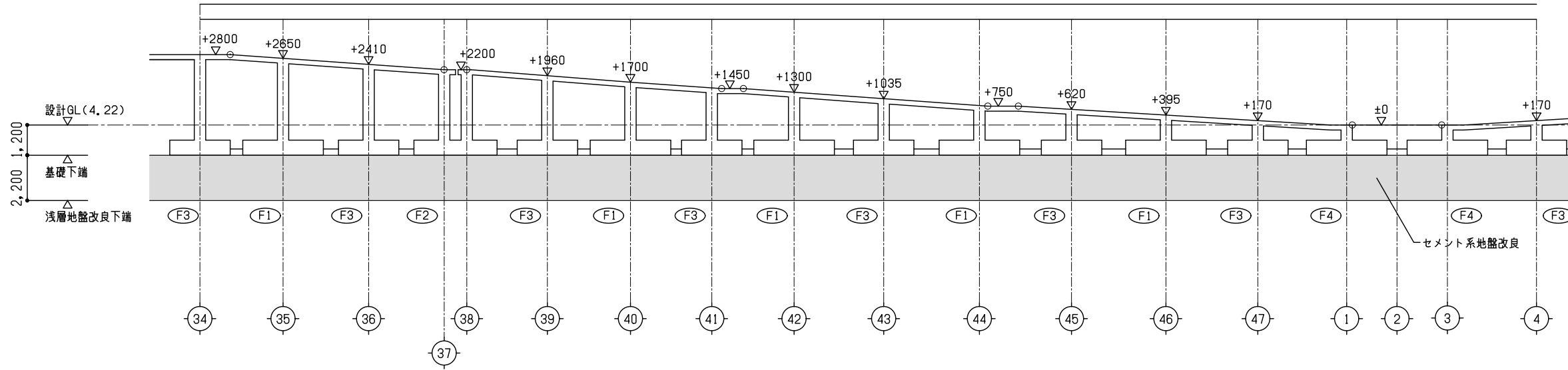
オオバ・hana class 共同企業体	
新都市公園実施設計及び建築設計業務委託	2021.01.29
新都市公園整備工事 (その3) 設計図	
基礎伏図	◁A1>S=1: 150 ◁A3>S=1: 300
1級建築士 大匠登録 第284403号 佐原 光治 1級建築士事務所 和歌山県知事登録 第(リ)130号-2	YS-06



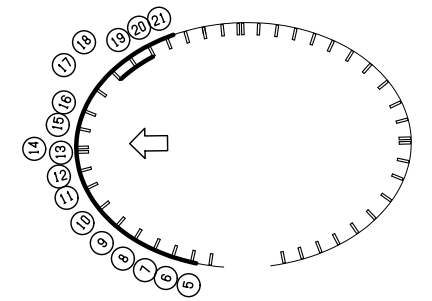
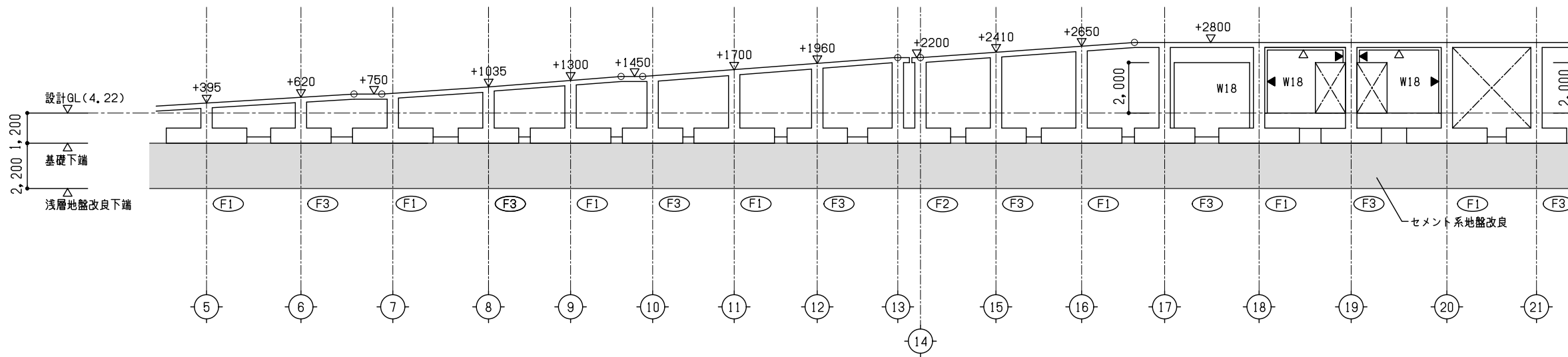
スロープ伏図  
 1/150(A1)  
 1/300(A3)



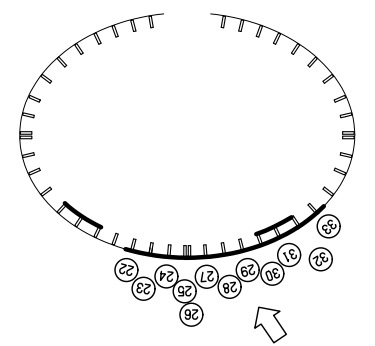
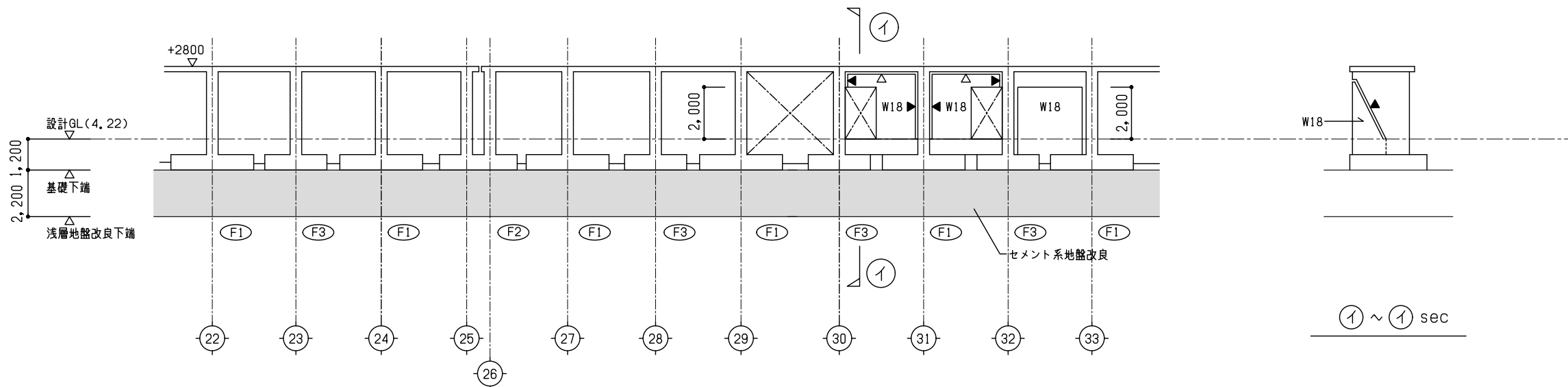
オオバ・hana class 共同企業体	
新都市公園実施設計及び建築設計業務委託	2021.01.29
新都市公園整備工事 (その3) 設計図	
スロープ 伏図	A1>S=1:150 A3>S=1:300
1級建築士 大臣登録 第284403号 佐原 光治 1級建築士事務所 和歌山県知事登録 第(リ)130号-2	YS-07



Key Plan



Key Plan



Key Plan

軸組図 1/100(A1)  
1/200(A3)

オオバ・hana class 共同企業体

新都市公園実施設計及び建築設計業務委託

2021.01.29

新都市公園整備工事 (その3) 設計図

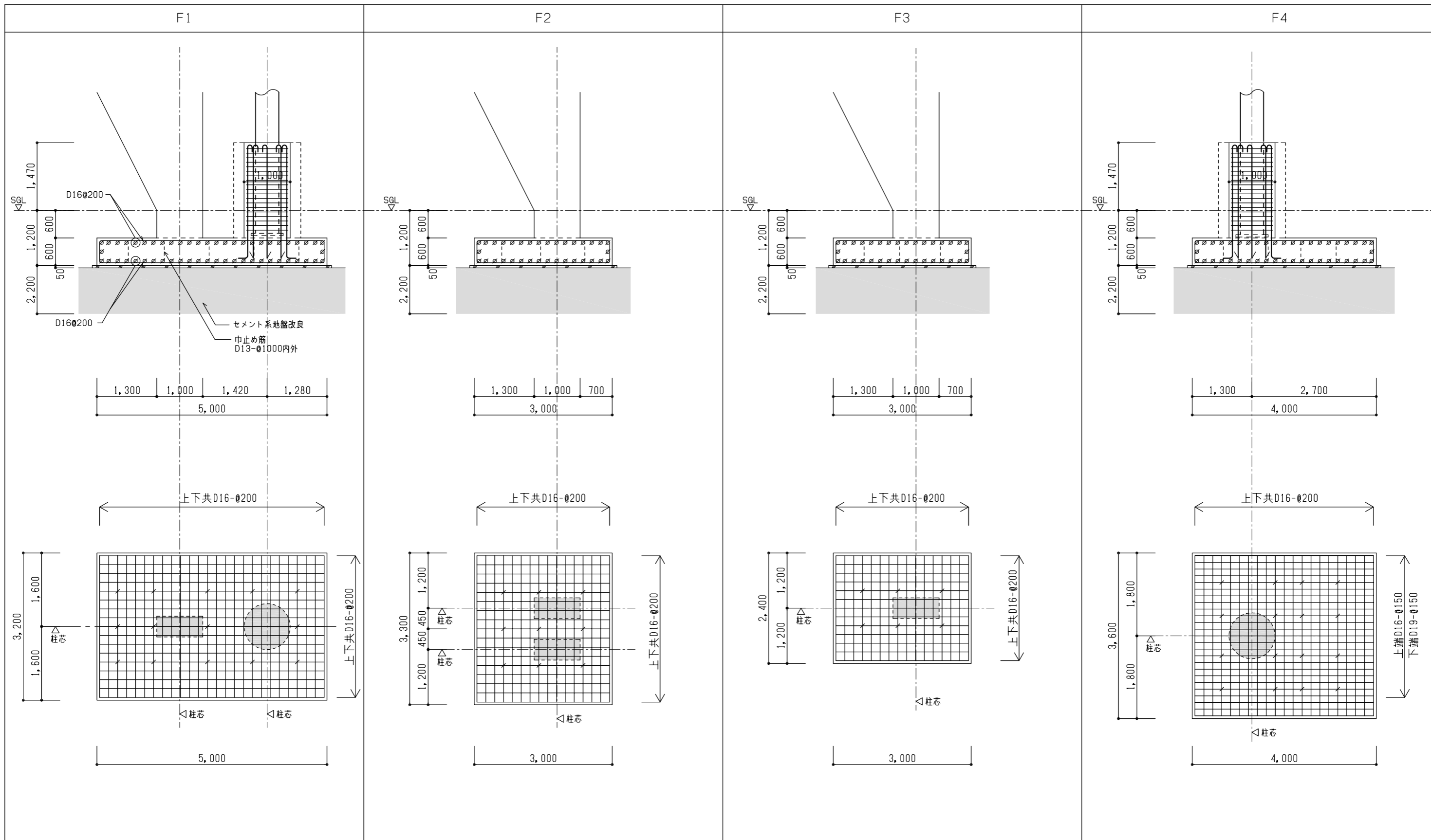
軸組図

<A1>S=1: 100  
<A3>S=1: 200

1級建築士 大匠登録 第284403号 佐原 光治  
1級建築士事務所 和歌山県知事登録 第(リ)130号-2

YS-08





オオバ・hana class 共同企業体

新都市公園実施設計及び建築設計業務委託

2021.01.29

新都市公園整備工事 (その3) 設計図

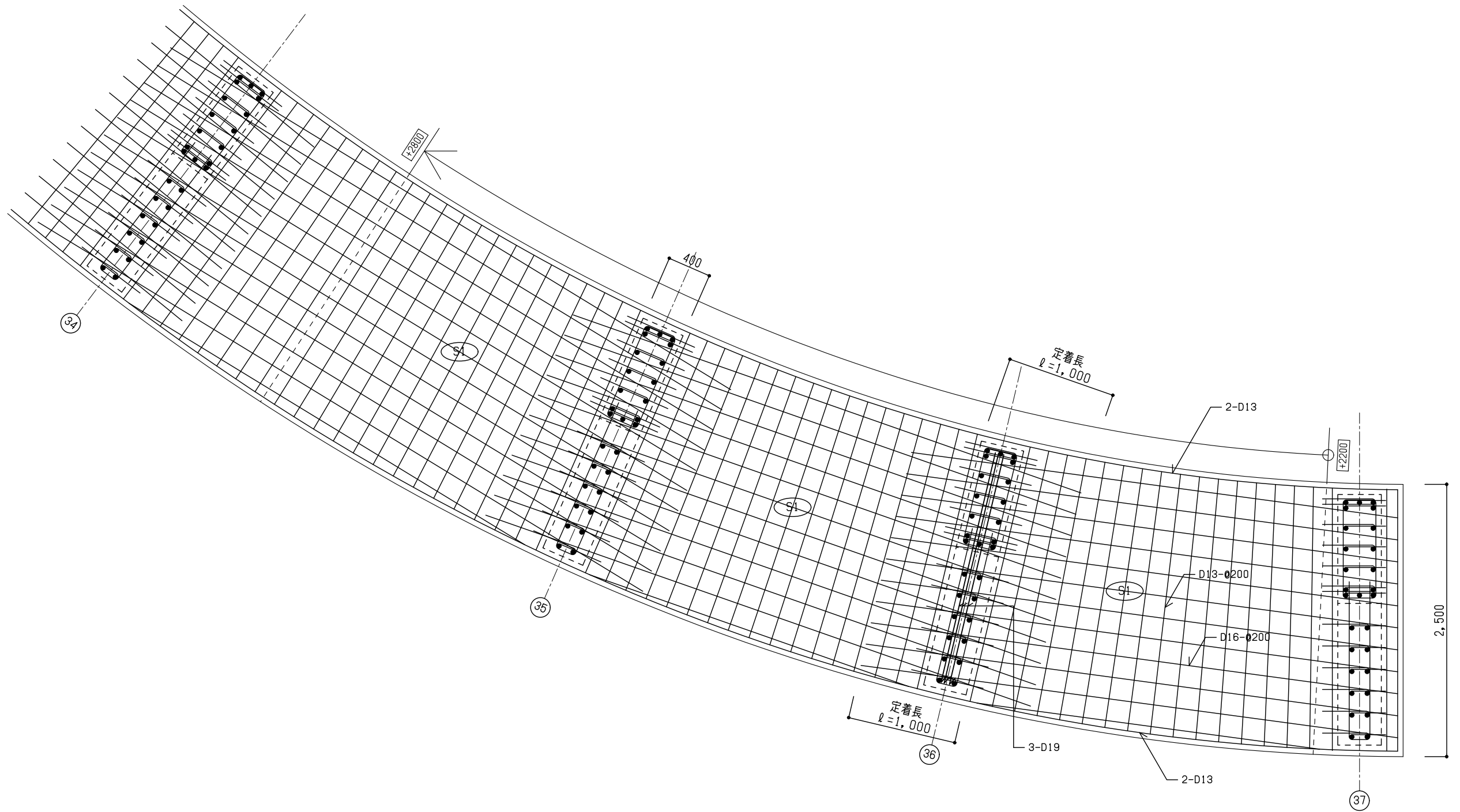
基礎リスト

<A1>S=1: 40

<A3>S=1: 80

1級建築士 大匠登録 第284403号 佐原 光治  
1級建築士事務所 和歌山県知事登録 第(リ)130号-2

YS-09



オオバ・hana class 共同企業体

新都市公園実施設計及び建築設計業務委託

2021.01.29

新都市公園整備工事 (その3) 設計図

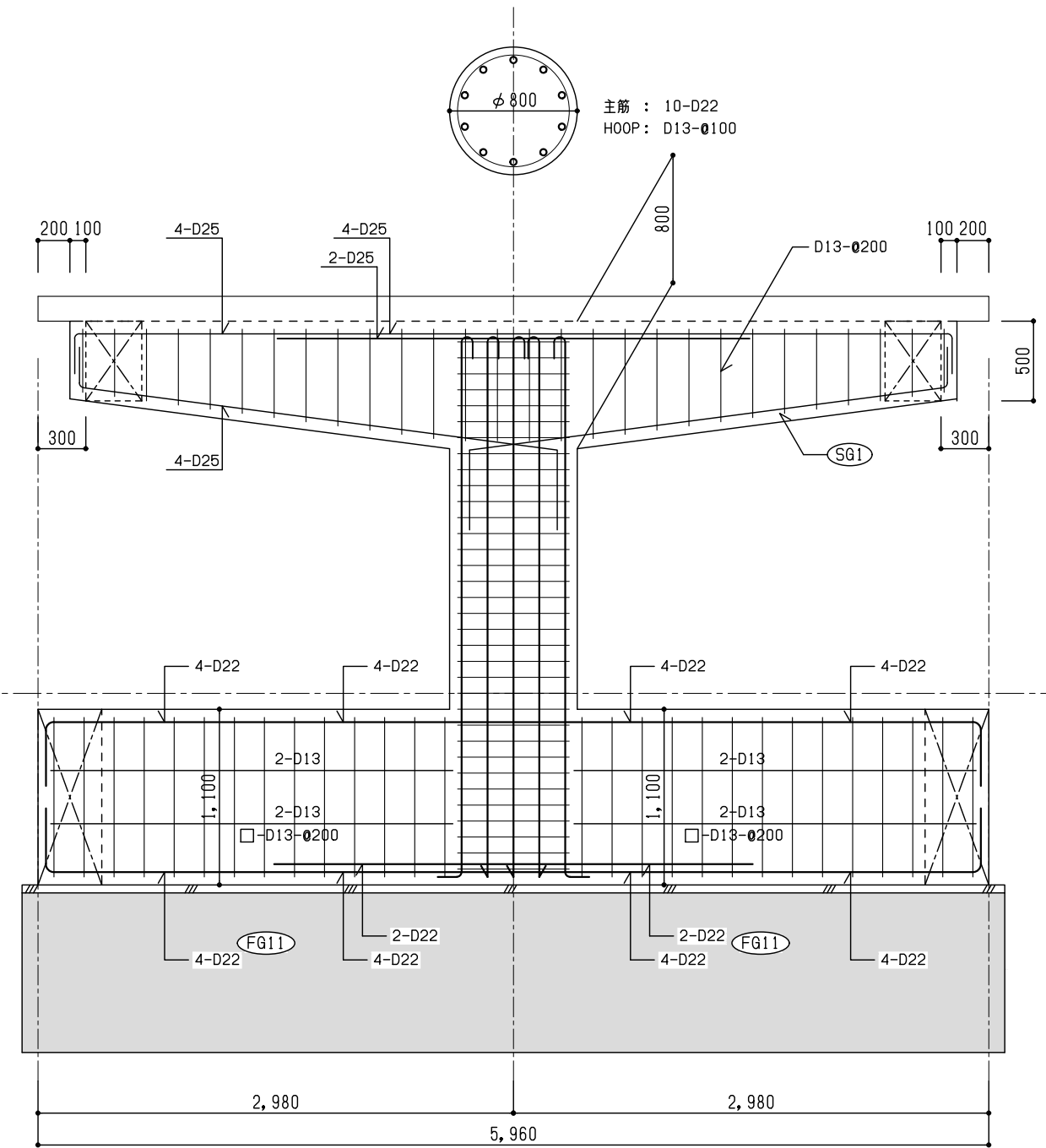
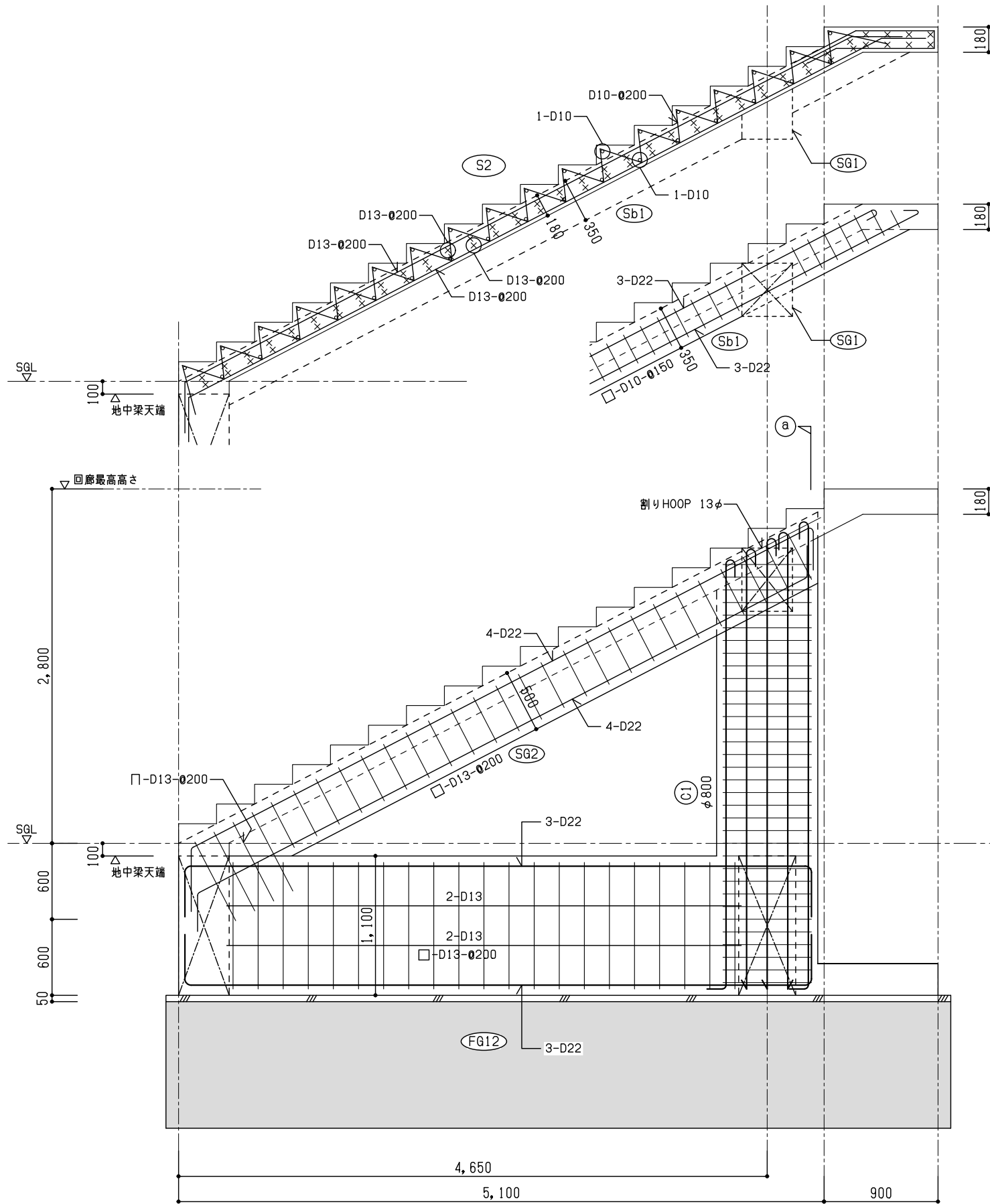
スロープ 床版配筋図 (1)

<A1>S=1: 20  
<A3>S=1: 40

1級建築士 大匠登録 第284403号 佐原 光治  
1級建築士事務所 和歌山県知事登録 第(リ)130号-2

YS-10





a) sec

オオバ・hana class 共同企業体	
新都市公園実施設計及び建築設計業務委託	2021.01.29
新都市公園整備工事 (その3) 設計図	
階段詳細図	<A1>S:1: 20 <A3>S:1: 40
1級建築士 大匠登録 第284403号 佐原 光治 1級建築士事務所 和歌山県知事登録 第(リ)130号-2	YS-12

地中梁リスト 1/20(A1)

特記なき限り [ 巾止め筋 D10-φ1000 ] [ 鉄筋種別 D16以下:SD295A D19以上D25以下:SD345 ]

符号	FG11		FG12	
	元端	先端	全断面	
断面				
上端筋	4-D22	4-D22	4-D22	
下端筋	6-D22	4-D22	4-D22	
あばら筋	□-D13-φ200		□-D13-φ200	
腹筋	4-D13		4-D13	
備考				

大梁リスト 1/20(A1)

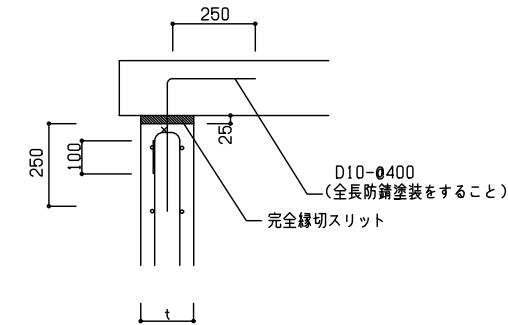
特記なき限り [ 巾止め筋 D10-φ1000 ] [ 鉄筋種別 D16以下:SD295A D19以上D25以下:SD345 ]

符号	SG1		SG2	Sb1	
	端部	中央	全断面	端部	中央
断面					
B x D	400 x 500~800		500 x 500	400 x 350	
上端筋	4-D25	6-D25	4-D22	3-D22	3-D22
下端筋	4-D25	4-D25	4-D22	3-D22	4-D22
あばら筋	□-D13-φ200		□-D13-φ200	□-D10-φ150	
腹筋	—		—	—	
備考					

底盤リスト、床版リスト

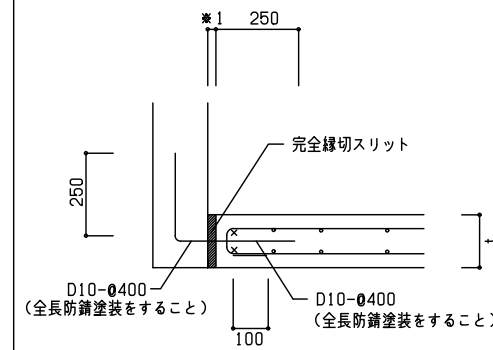
符号	床厚	位置	短辺			長辺			TYPE	備考
			中央	A, B	端部	中央	C, B	端部		
			端部A	中央B	D, C	端部C	中央B	D, A		
S1	200	上端筋	D13-φ200	—	—	D16-φ200	—	—		
		下端筋	D13-φ200	—	—	D16-φ200	—	—		
S2	180	上端筋	D13-φ200	—	—	D13-φ200	—	—	階段スラブ	
		下端筋	D13-φ200	—	—	D13-φ200	—	—		
S3	150	上端筋	D10-φ200	—	—	D10-φ200	—	—	倉庫スラブ	
		下端筋	D10-φ200	—	—	D10-φ200	—	—		
FS1	200	上端筋	D13-φ200	—	—	D13-φ200	—	—		
		下端筋	D13-φ200	—	—	D13-φ200	—	—		
FS2	250	上端筋	D16-φ150	—	—	D16-φ150	—	—	階段スラブ	
		下端筋	D16-φ150	—	—	D16-φ150	—	—		
FS3	600	上端筋	D16-φ200	—	—	D16-φ200	—	—	倉庫スラブ	
		下端筋	D16-φ200	—	—	D16-φ200	—	—		

水平スリット詳細図 Ⅴ-甲



止水性能試験にて漏水なしの対応品とする

完全スリット詳細図 (鉛直スリット) Ⅵ-甲



止水性能試験にて漏水なしの対応品とする

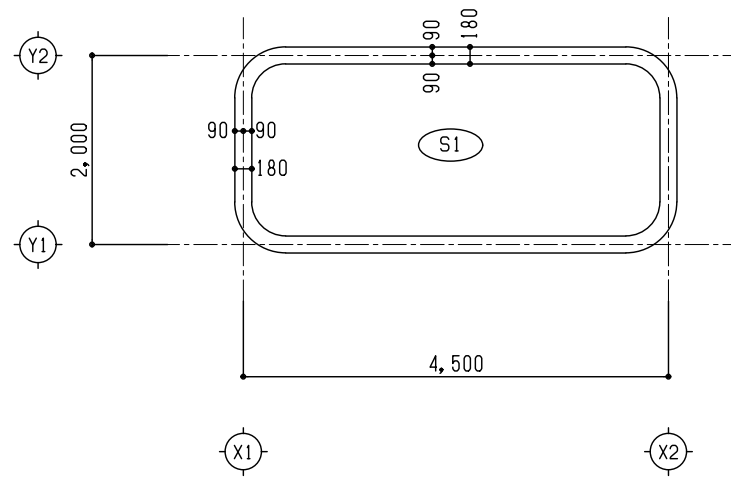
オオバ・hana class 共同企業体

新都市公園実施設計及び建築設計業務委託 2021.01.29

新都市公園整備工事 (その3) 設計図

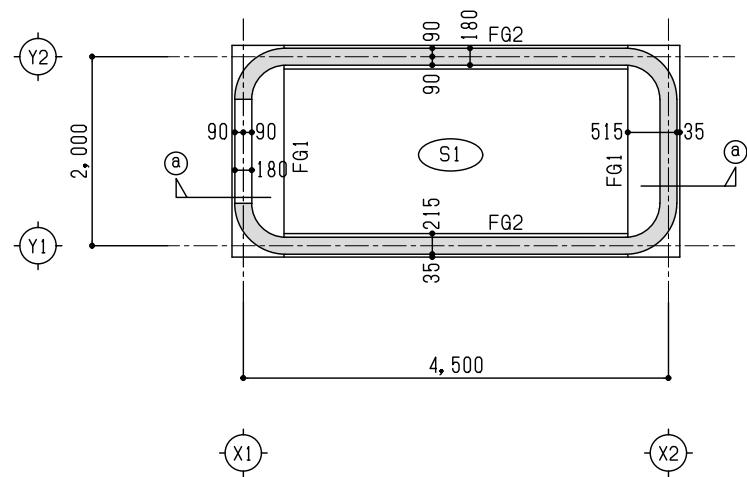
階段部 地中梁リスト・大梁リスト <A1>S=1: 20 <A3>S=1: 40

1級建築士 大匠登録 第284403号 佐原 光治  
1級建築士事務所 和歌山県知事登録 第(リ)130号-2



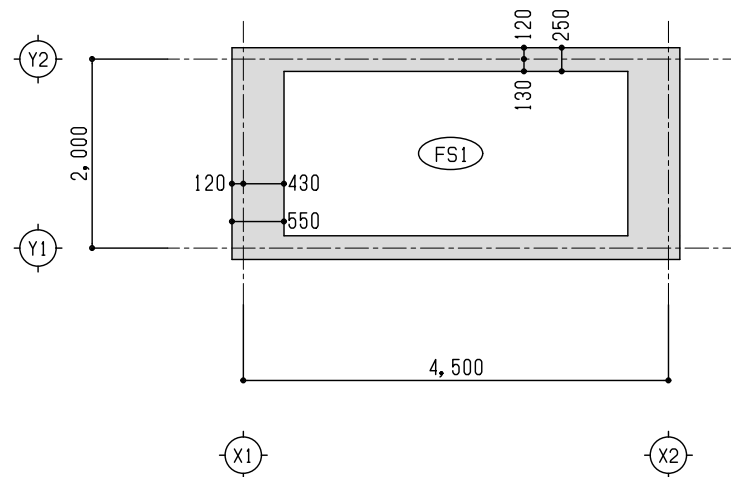
屋根伏図 1/40(A1)  
1/80(A3)

特記なき限り下記による。  
・壁は、W18とする。



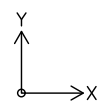
1階伏図 1/40(A1)  
1/80(A3)

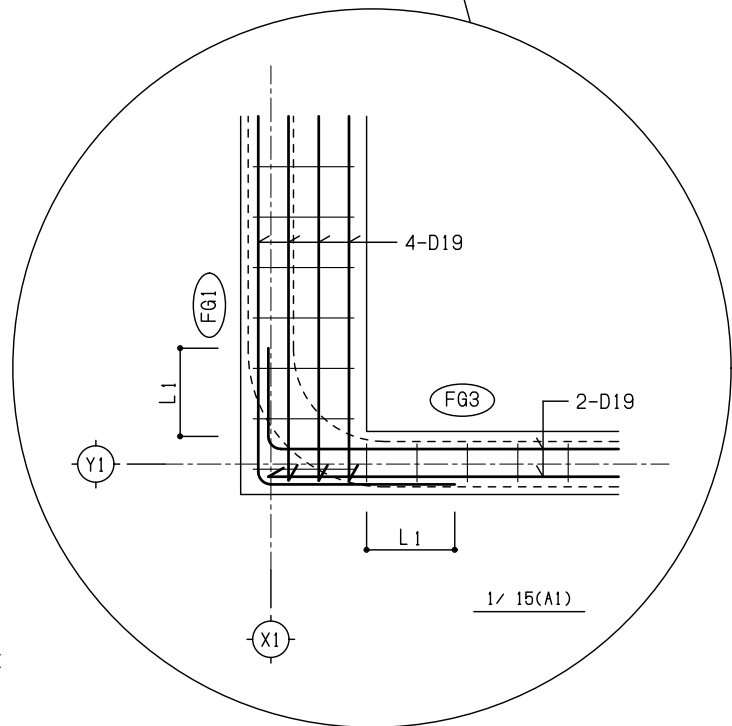
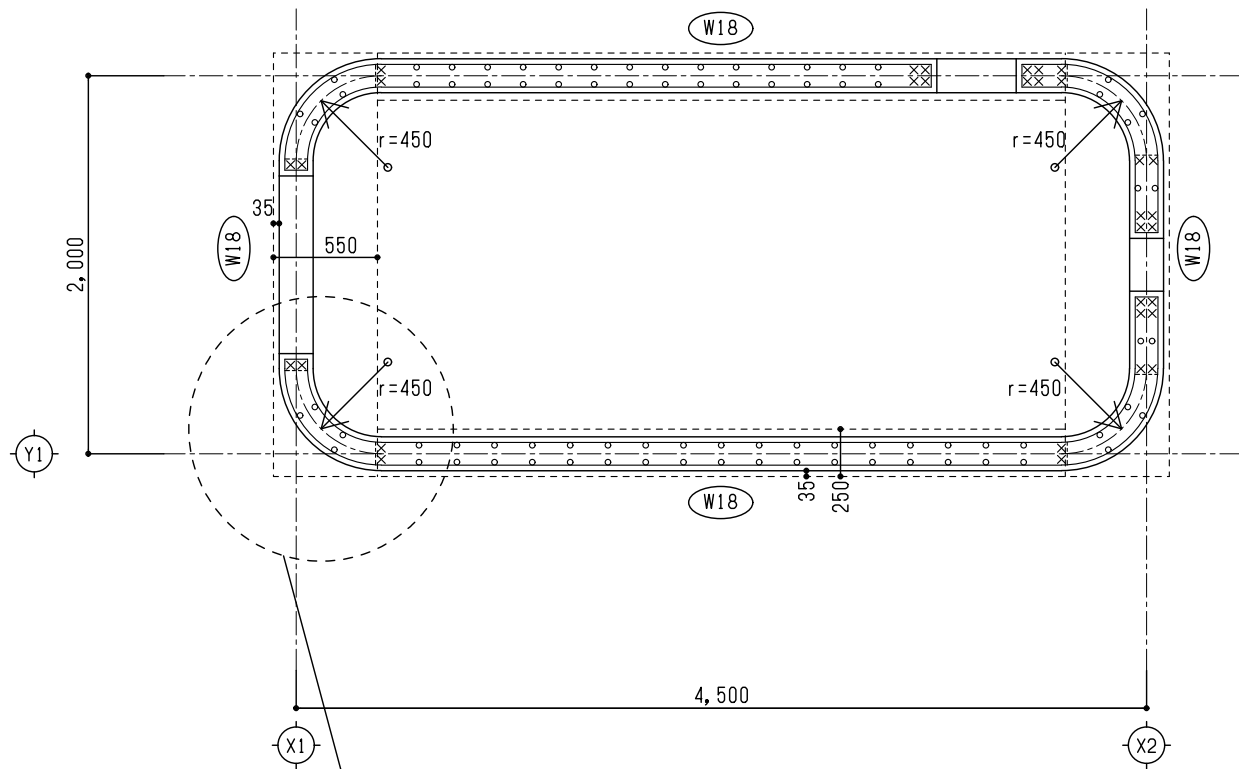
特記なき限り下記による。  
・壁は、W18とする。



基礎伏図 1/40(A1)  
1/80(A3)

特記なき限り下記による。  
・地中梁天端は、設計GL-100とする。

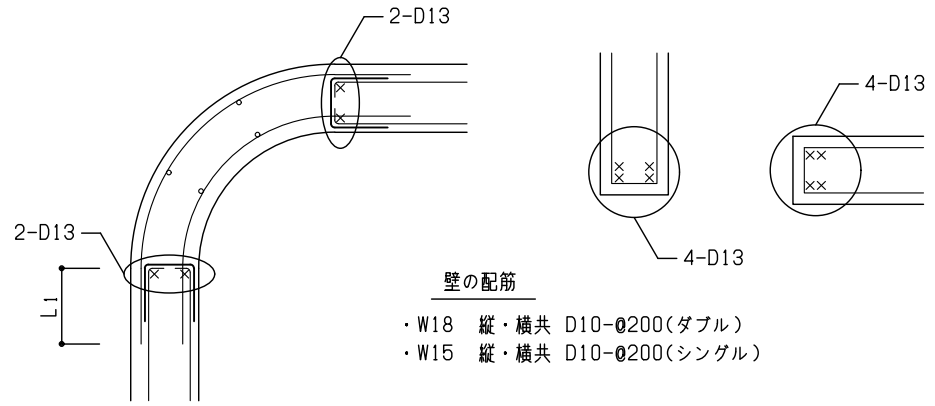




1階平面配筋図 1/20(A1)  
1/40(A3)

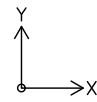
特記なき限り下記による。

- ・壁は、W18とする。
- ・開口補強筋及びコーナー筋の補強要領は、下記による。



壁の配筋

- ・W18 縦・横共 D10-φ200(ダブル)
- ・W15 縦・横共 D10-φ200(シングル)



オオバ・hana class 共同企業体	
新都市公園実施設計及び建築設計業務委託	2021.01.29
新都市公園整備工事(その3) 設計図	
機械室 平面配筋図	<A1>S=1: 20 <A3>S=1: 40
1級建築士 大匠登録 第284403号 佐原 光治 1級建築士事務所 和歌山県知事登録 第(リ)130号-2	YS-15

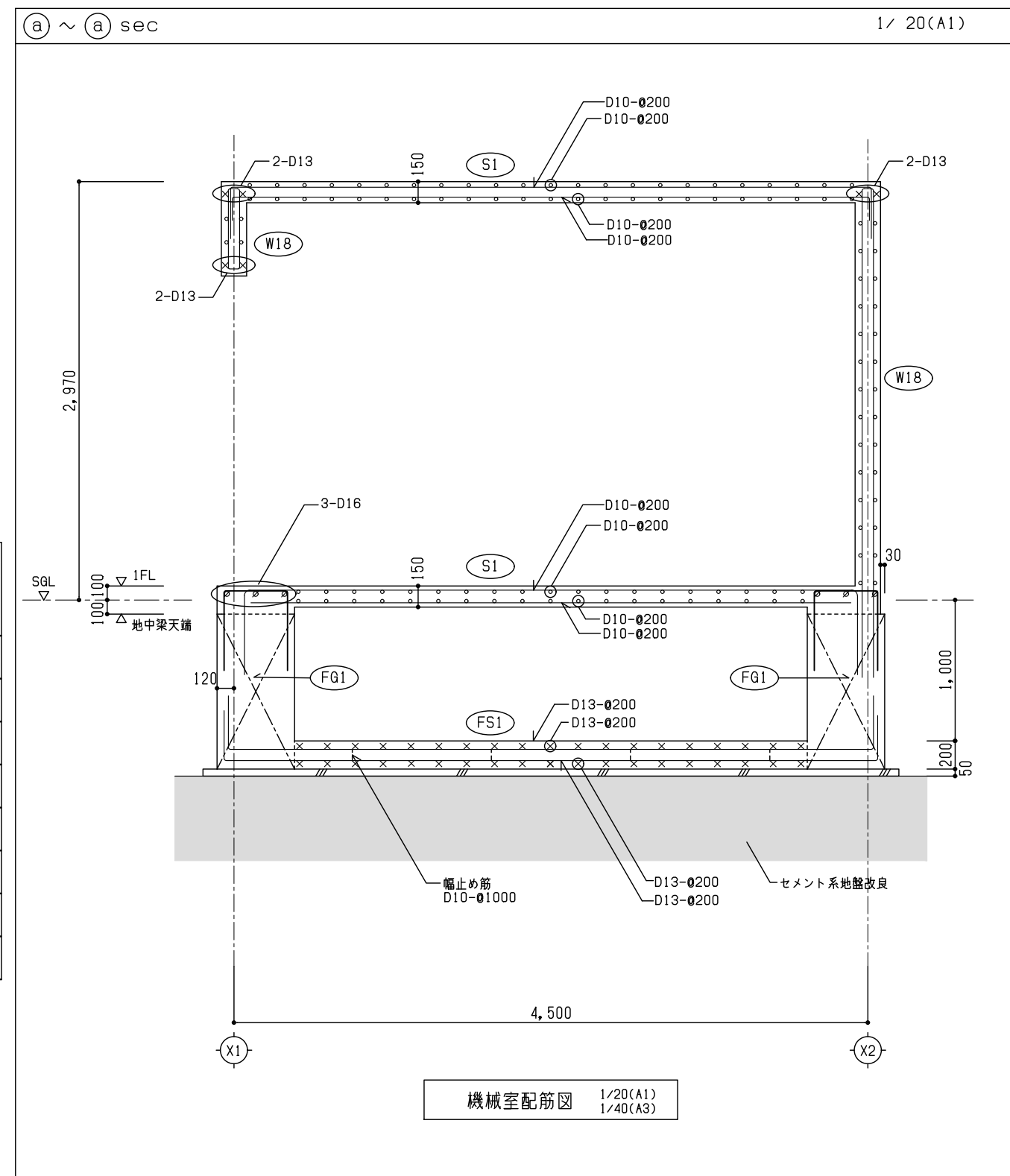
地中梁リスト 1/20(A1)

特記なき限り [ 巾止め筋 D10-φ1000 ] [ 鉄筋種別 D16以下:SD295A D19以上D25以下:SD345 ]

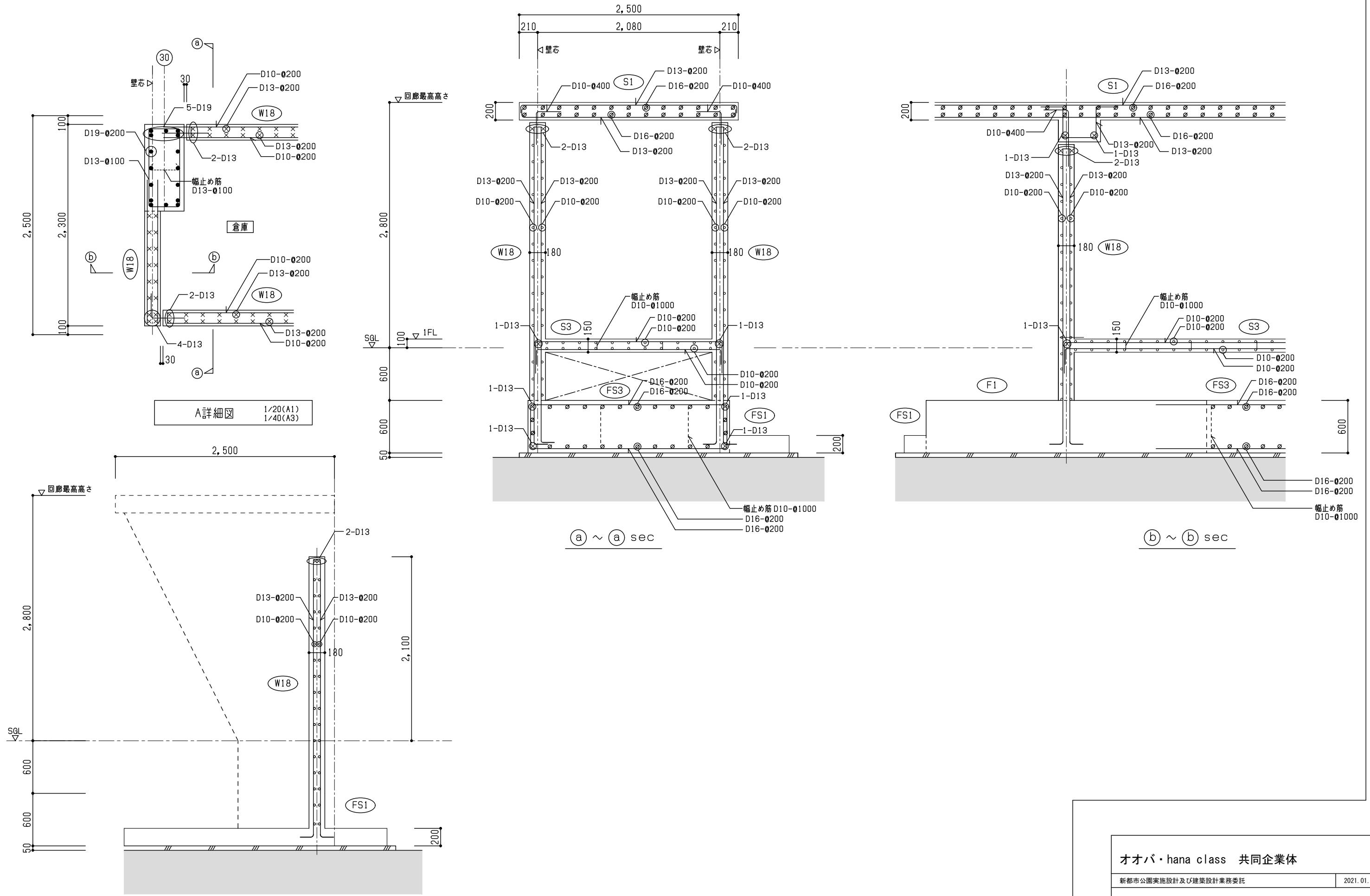
符号	FG1	FG2		
位置	全断面	全断面		
断面				
上端筋	4-D19	2-D19		
下端筋	4-D19	2-D19		
あばら筋	□-D13-φ200	□-D10-φ200		
腹筋	4-D13	4-D13		
備考				

床版リスト

符号	床厚	位置	短辺			長辺			TYPE	備考
			中央	A, B	端部	中央	C, B	端部		
			端部A	中央B	D, C	端部C	中央B	D, A		
S1	150	上端筋	D10-φ200	—	—	D10-φ200	—	—		
		下端筋	D10-φ200	—	—	D10-φ200	—	—		
FS1	200	上端筋	D13-φ200	—	—	D13-φ200	—	—		
		下端筋	D13-φ200	—	—	D13-φ200	—	—		







A詳細図 1/20(A1) 1/40(A3)

階段下壁配筋図 ( ① ~ ① sec)

オオバ・hana class 共同企業体	
新都市公園実施設計及び建築設計業務委託	2021.01.29
新都市公園整備工事 (その3) 設計図	
倉庫詳細図	<A1>S=1: 20 <A3>S=1: 40
1級建築士 大匠登録 第284403号 佐原 光治	YS-17
1級建築士事務所 和歌山県知事登録 第(リ)130号-2	